



株式会社夢真ホールディングス
YUMESHIN HOLDINGS CO.,LTD.

2011年9月期 決算説明会 2011年11月8日

2011年9月期/
September.2011
通期/
Fiscal Year
証券コード/
Securities code
2362

1. 連結決算概要

連結P/Lの状況	…P4
連結P/L ハイライト	…P5～P6
セグメント状況	…P7～P9
連結B/Sの状況	…P10～P14
連結C/Fの状況	…P15～P18

2. 単体決算概要

単体P/L ハイライト	…P20
経営指標	…P21
平均稼働時間	…P22
平均稼働率	…P23
平均単価	…P24
技術者数推移	…P25

3. 業績予想・戦略

外部環境	…P27～P34
経営戦略	…P35～P40
単体業績予想	…P41
子会社の状況	…P42～P44
連結業績予想	…P45～P46
業績予想 まとめ	…P47
株主還元政策	…P48
TOPIC	…P49～P50

4. ビジネスモデル

夢真グループの事業領域	…P54
夢真HDのビジネス	…P55
技術者派遣の特徴	…P56～P59

連結決算概要

連結決算概要

連結P/Lの状況

連結P/L ハイライト



<百万円>

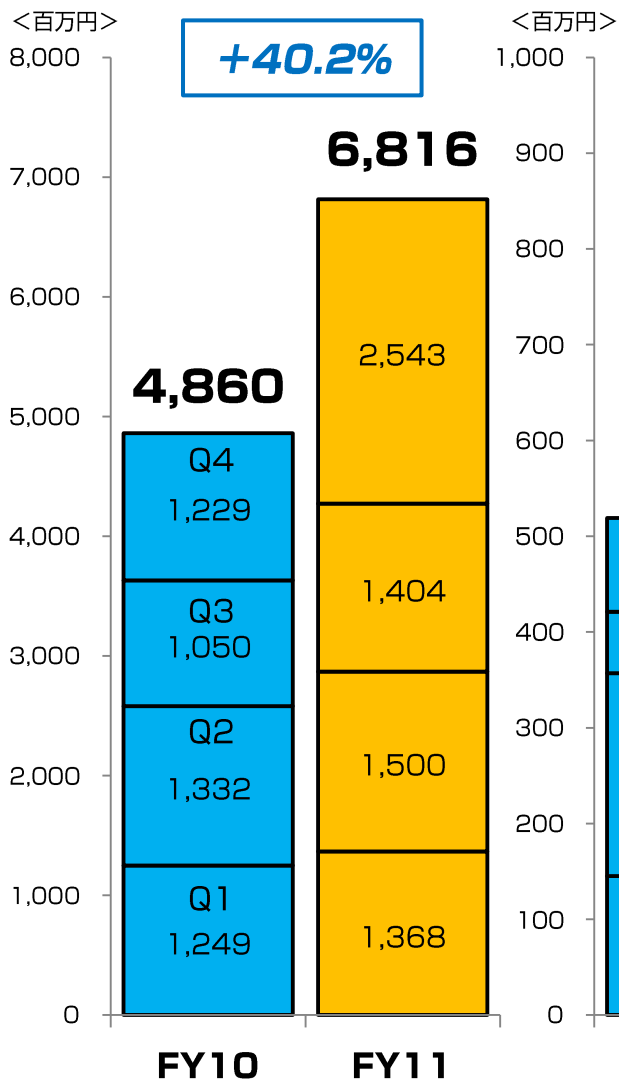
	前年同期比				
	2010/実績	2011/実績	増減額	増減率	
売上高	4,861	6,816	+1,955	40.2%	
営業利益	519	542	+22	4.4%	夢テクノロジー <特別損失> 休業措置による人件費 46百万円
経常利益	552	451	▲100	▲18.3%	TOBアドバイザー費用 25百万円
当期純利益	430	102	▲328	▲76.3%	特別退職金 16百万円 廃寮及び支店統廃合費用 58百万円
粗利益率	30.7%	27.9%	▲2.8pt.	—	
営業利益率	10.7%	8.0%	▲2.7pt.	—	

※営業利益率の推移については<参考資料②>をご参照ください。

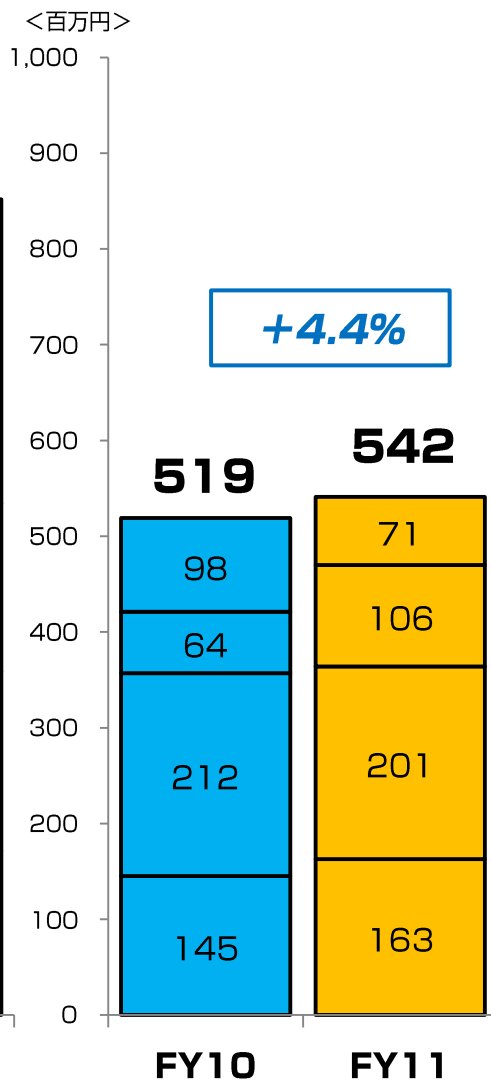
連結P/Lの状況 会計期間



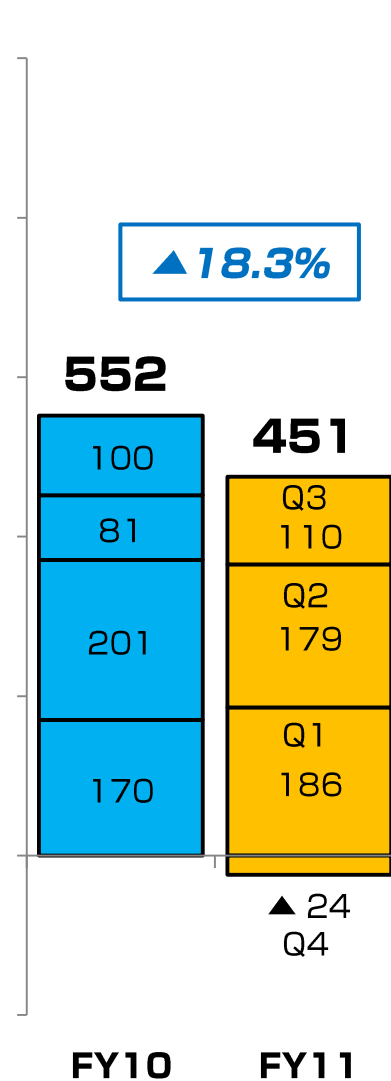
売上高



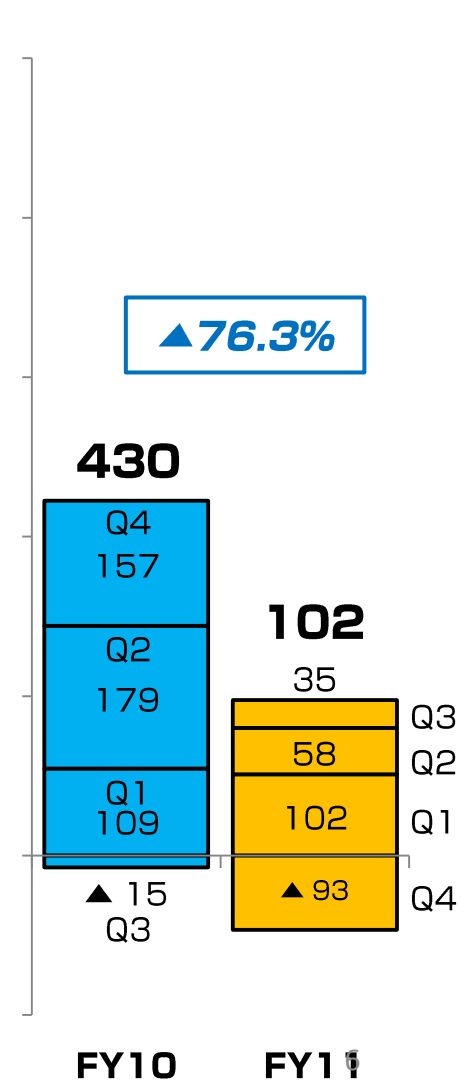
営業利益



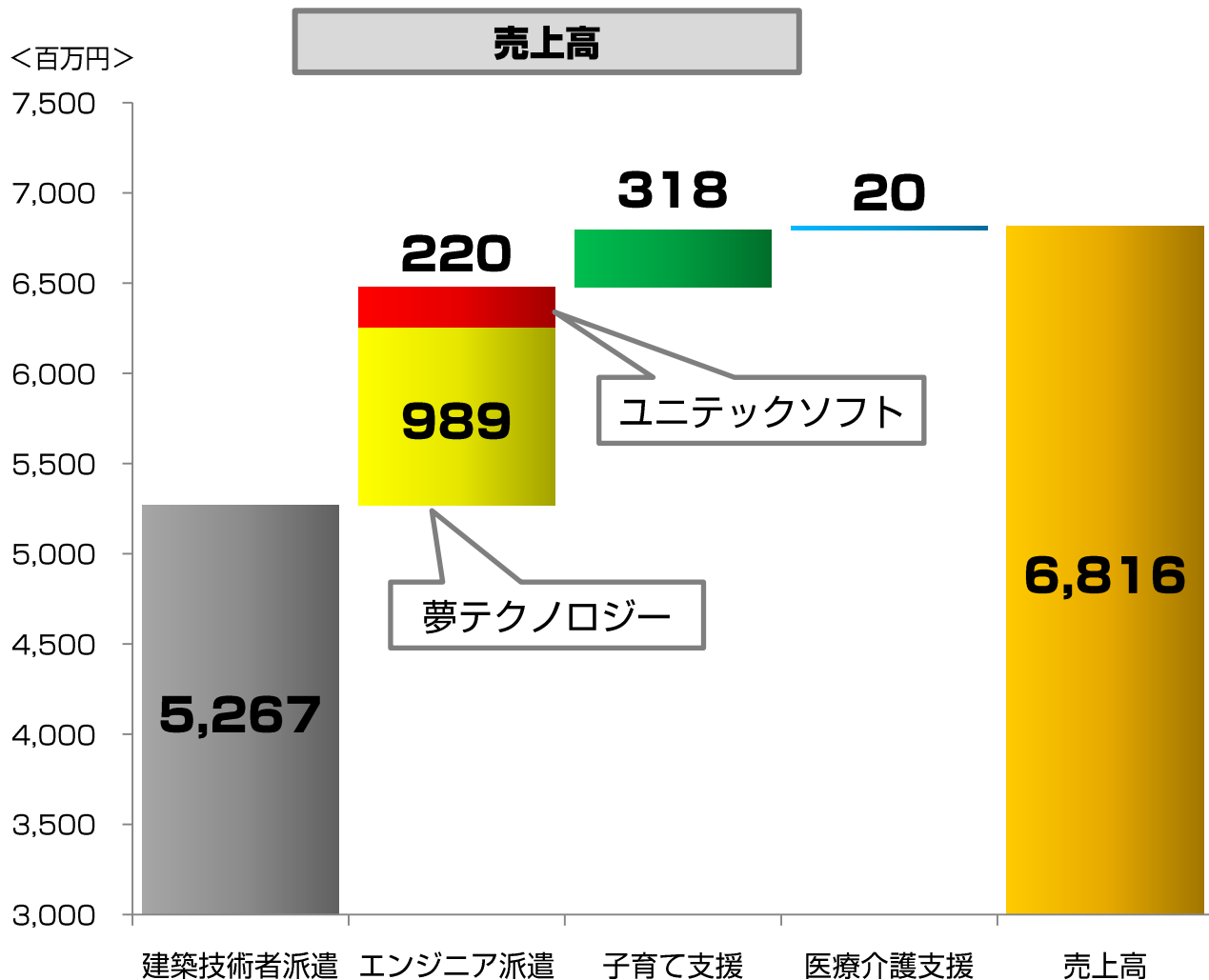
経常利益



当期純利益



セグメント状況（1）売上高



売上高割合

建築技術者派遣事業
77.3%

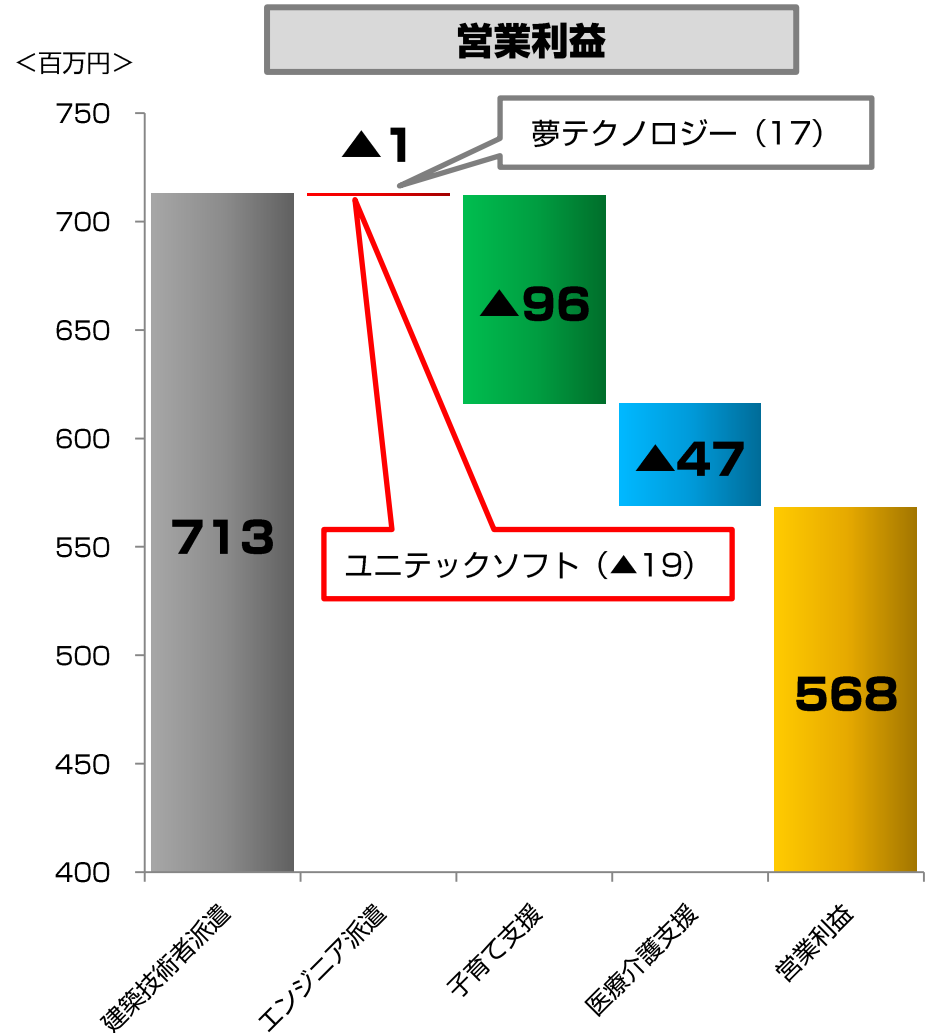
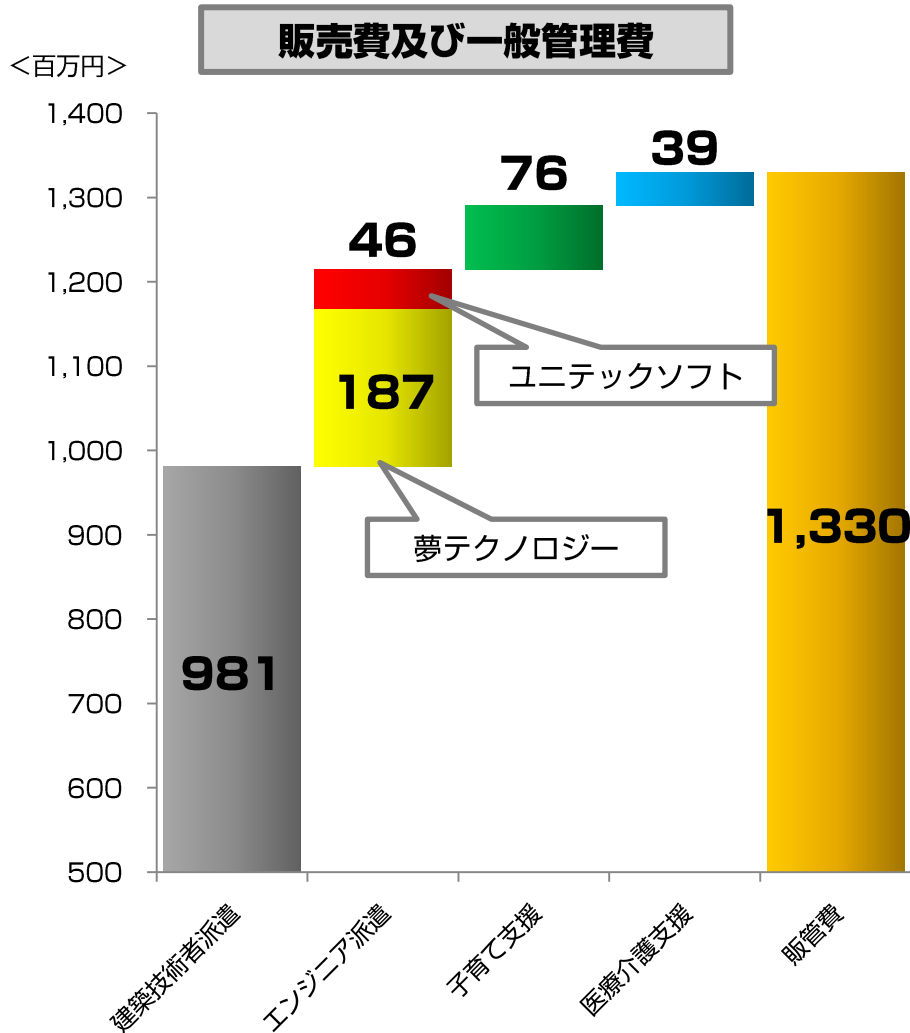
エンジニア派遣事業
17.7%

子育て支援事業
4.7%

医療介護支援事業
0.3%

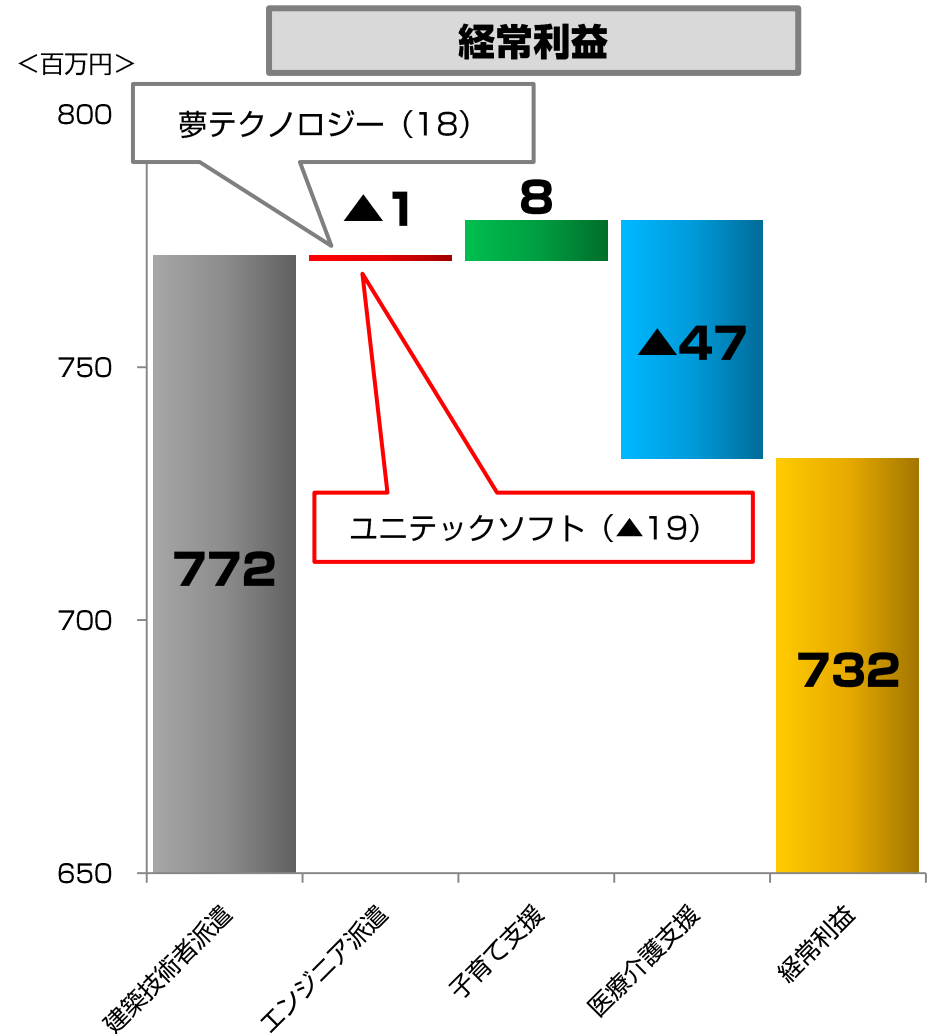
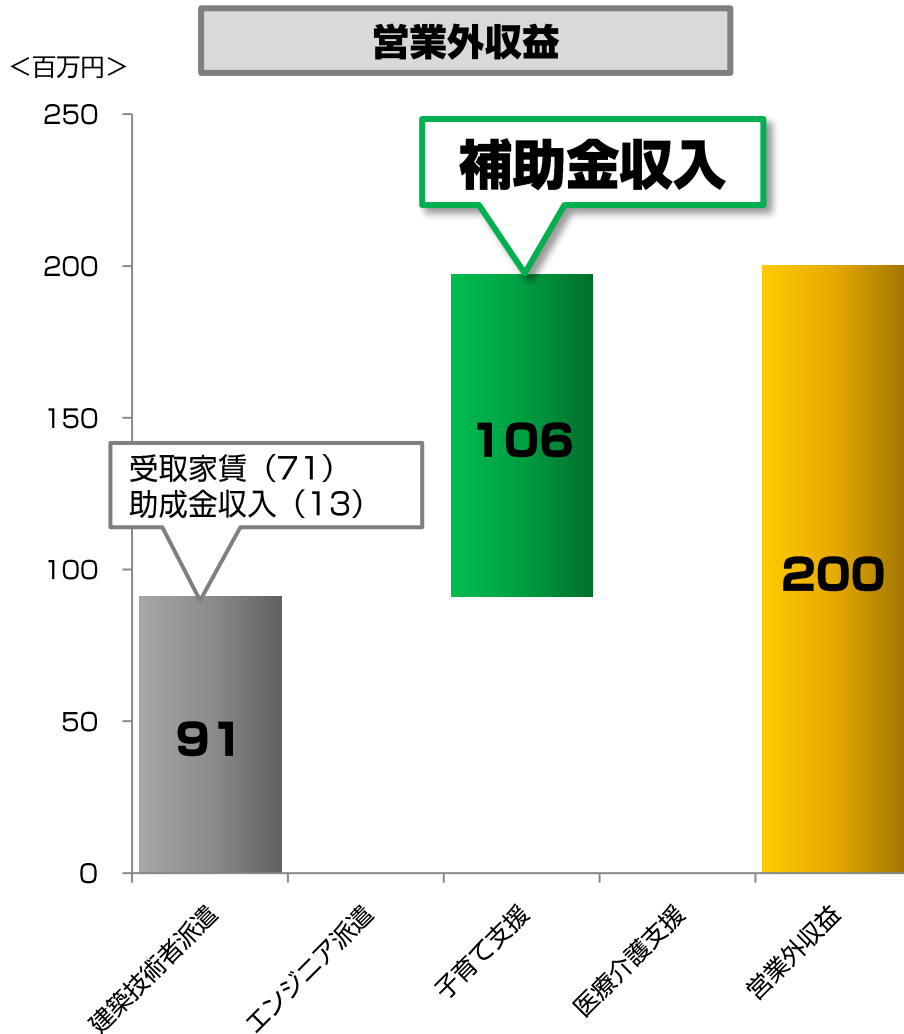
- ※ 1. 建築技術者派遣＝夢真HD
- 2. エンジニア派遣＝夢テクノロジー＋ユニテックソフト
- 3. 子育て支援＝我喜大笑
- 4. 医療介護支援事業＝夢真メディカルサポート

セグメント状況 (2) 販管費・営業利益



- ※ 1. 建築技術者派遣＝夢真HD
- 2. エンジニア派遣＝夢テクノロジー＋ユニテックソフト
- 3. 子育て支援＝我喜大笑
- 4. 医療介護支援事業＝夢真メディカルサポート

セグメント状況 (3) 営業外収益・経常利益



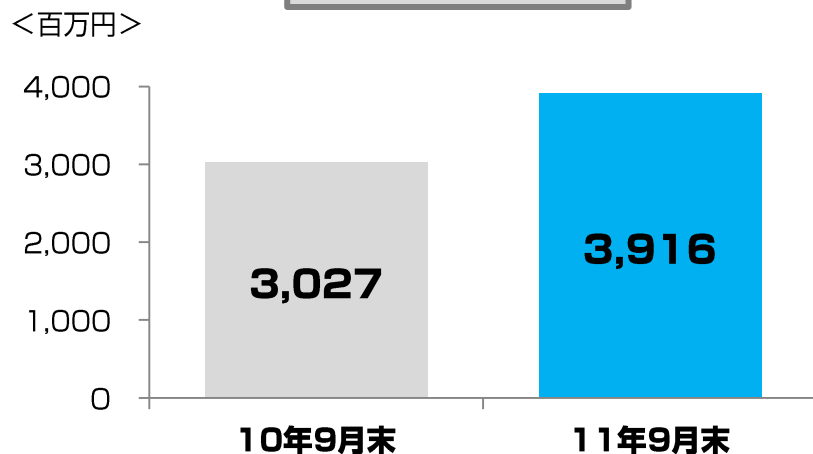
- ※ 1. 建築技術者派遣＝夢真HD
- 2. エンジニア派遣＝夢テクノロジー＋ユニテックソフト
- 3. 子育て支援＝我喜大笑
- 4. 医療介護支援事業＝夢真メディカルサポート

連結B/Sの状況

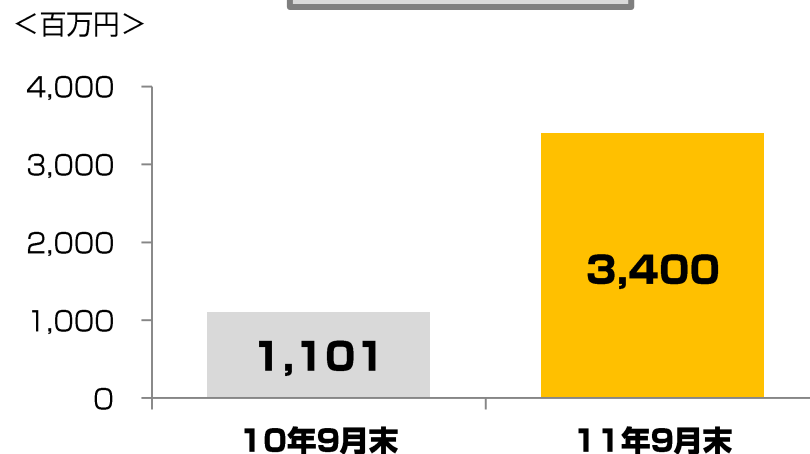
連結B/S ハイライト



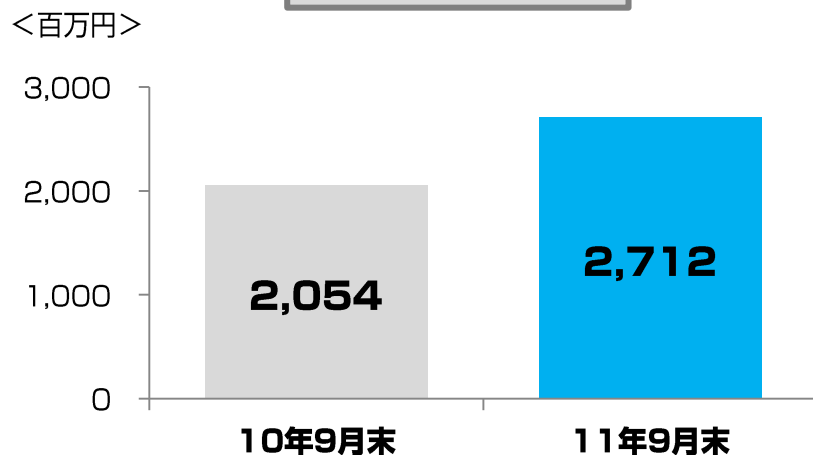
流動資産



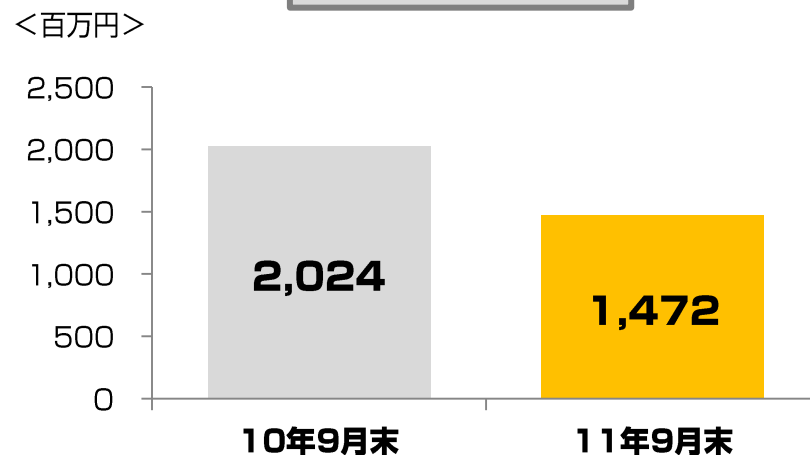
流動負債



固定資産



固定負債



連結B/Sの状況（1）資産



<百万円>

	2010年9月末	2011年9月末	増減額	増減率
資産の部	5,082	6,629	1,547	30.4%
流動資産	3,027	3,916	889	29.4%
現金及び預金	2,019	2,304	285	14.1%
受取手形及び売掛金	721	1,425	704	97.6%
固定資産	2,054	2,712	658	32.0%
有形固定資産	1,230	1,387	157	12.8%
建物	634	761	127	20.0%
土地	577	577	—	—
無形固定資産	36	759	723	2,008.3%
のれん	30	717	687	2,290.0%
投資その他の資産	788	566	▲222	▲28.2%
投資有価証券	466	293	▲173	▲37.1%

連結B/Sの状況 (2) 負債・純資産



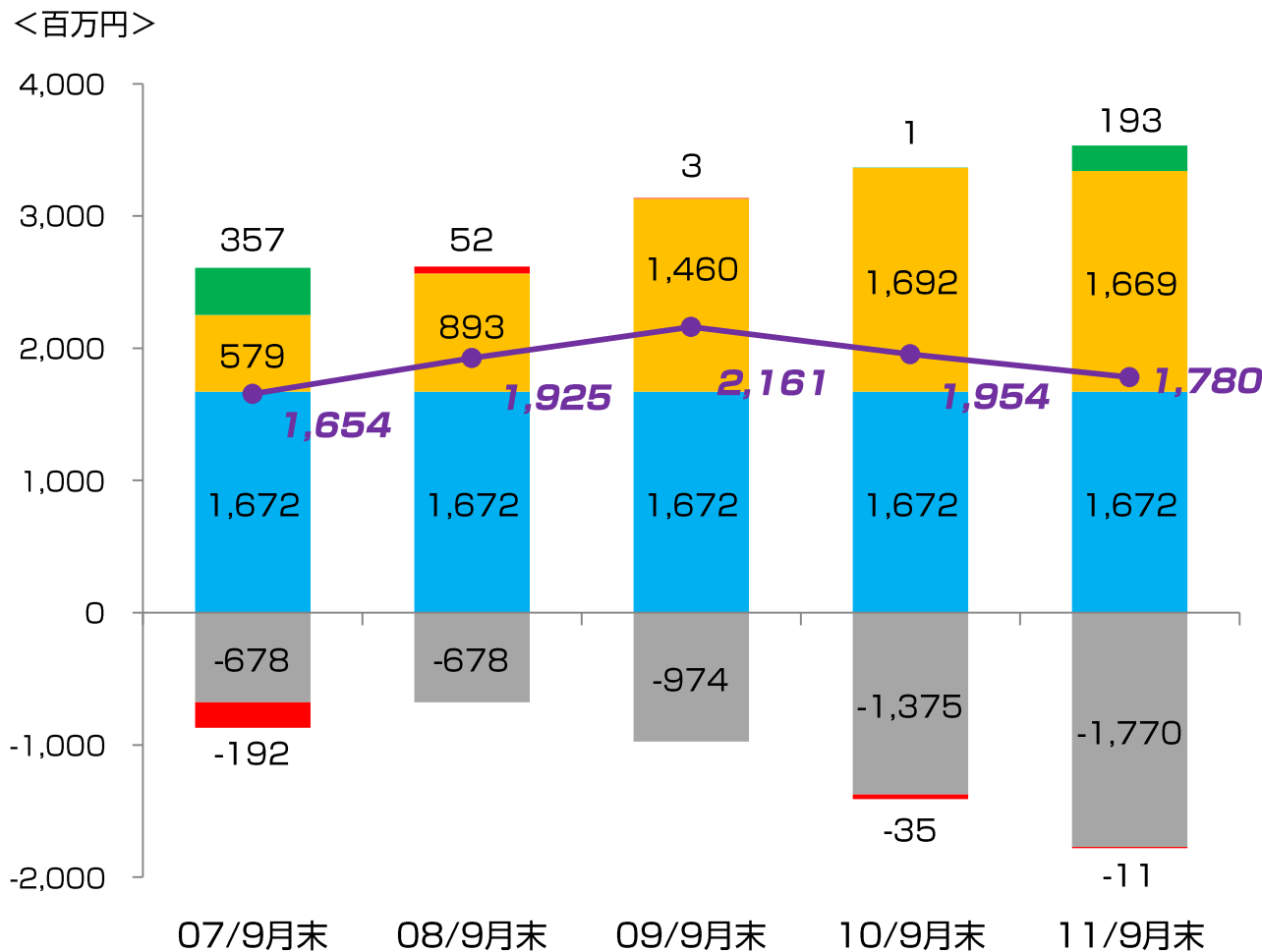
<百万円>

	2010年9月末	2011年9月末	増減額	増減率
負債の部	3,125	4,872	1,747	55.9%
流動負債	1,101	3,400	2,299	208.8%
1年内償還予定の社債	100	1,240	1,140	1,140.1%
1年内返済予定長期借入金	580	929	349	60.2%
固定負債	2,204	1,472	▲732	▲33.2%
社債	400	—	▲400	—
長期借入金	1,620	1,088	▲532	▲32.8%
純資産の部	1,956	1,757	199	10.2%
株主資本	1,990	1,572	▲418	▲21.0%
資本金	805	805	—	—
資本剰余金	867	867	—	—
利益剰余金	1,692	1,669	▲23	1.4%
自己株式	▲1,375	▲1,770	▲413	—
その他の包括利益累計額	▲35	▲11	24	—
その他有価証券評価差額金	▲35	▲11	24	—
新株予約権	—	3	3	—
少数株主持分	1	193	192	19,200%

連結B/Sの状況 (3) 純資産推移



- 資本・資本剰余金計
- 自己株式
- 少数株主持ち分
- 利益剰余金
- その他有価証券評価差額金
- 自己資本



**利益剰余金が
子会社の損失により
微減したものの
07年対比
+1,090百万円
+188.3%**

**自己株式の取得を継続中
07年 2,844千株
11年 14,617千株**

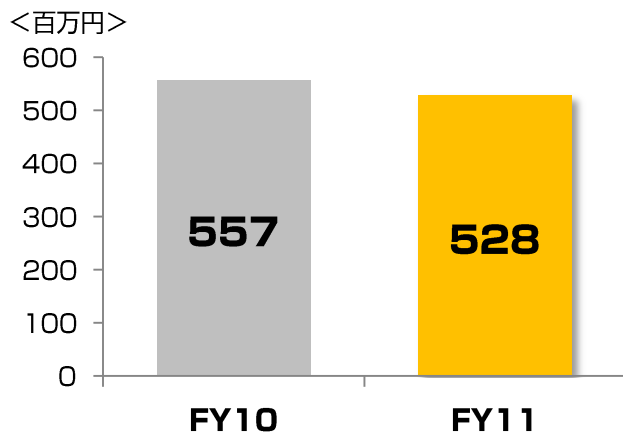
※期中平均自己株式数

※自己資本=純資産-少数株主持ち分

連結C/Fの状況

連結C/Fの状況 (1)

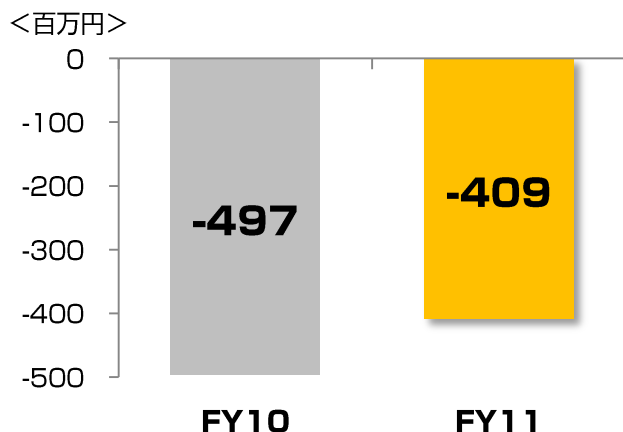
営業CF



<百万円>

FY2010		FY2011	
税金等調整前四半期純利益	486	税金等調整前四半期純利益	313
支払利息	60	賞与引当金の増減額	97
		支払利息	87

投資CF



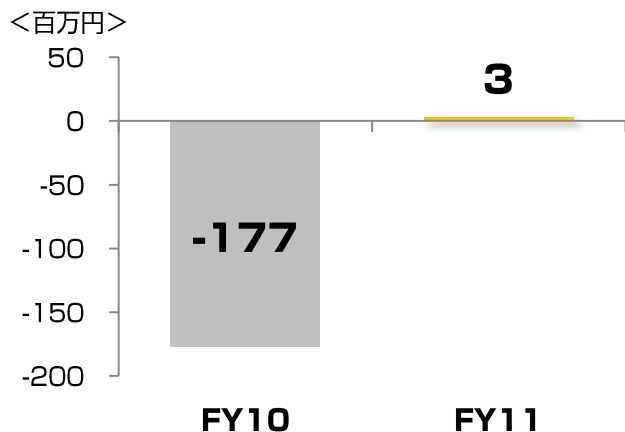
<百万円>

FY2010		FY2011	
定期預金の増減額 (▲は増加)	▲438	投資有価証券の取得による支出	▲212
関係会社株式の取得による支出	▲101	投資有価証券の売却による収入	258
有形固定資産の売却による収入	148	連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	▲451
貸付による支出	▲79		

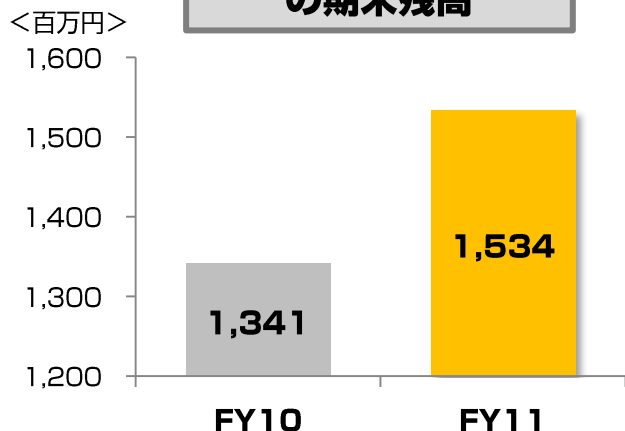
※連結キャッシュ・フロー計算書の項目で、主なものを記載しています。

連結C/Fの状況 (2)

財務CF



現金及び現金同等物の期末残高



<百万円>

FY2010		FY2011	
長期借入による収入	1,995	長期借入による収入	1,000
長期借入金の返済による支出	▲2,059	長期借入金の返済による支出	▲1,182
社債の発行による収入	500	社債の発行による収入	870
自己株式の取得による支出	▲400	自己株式の取得による支出	▲398
配当金の支払額	▲197	配当金の支払額	▲122

<百万円>

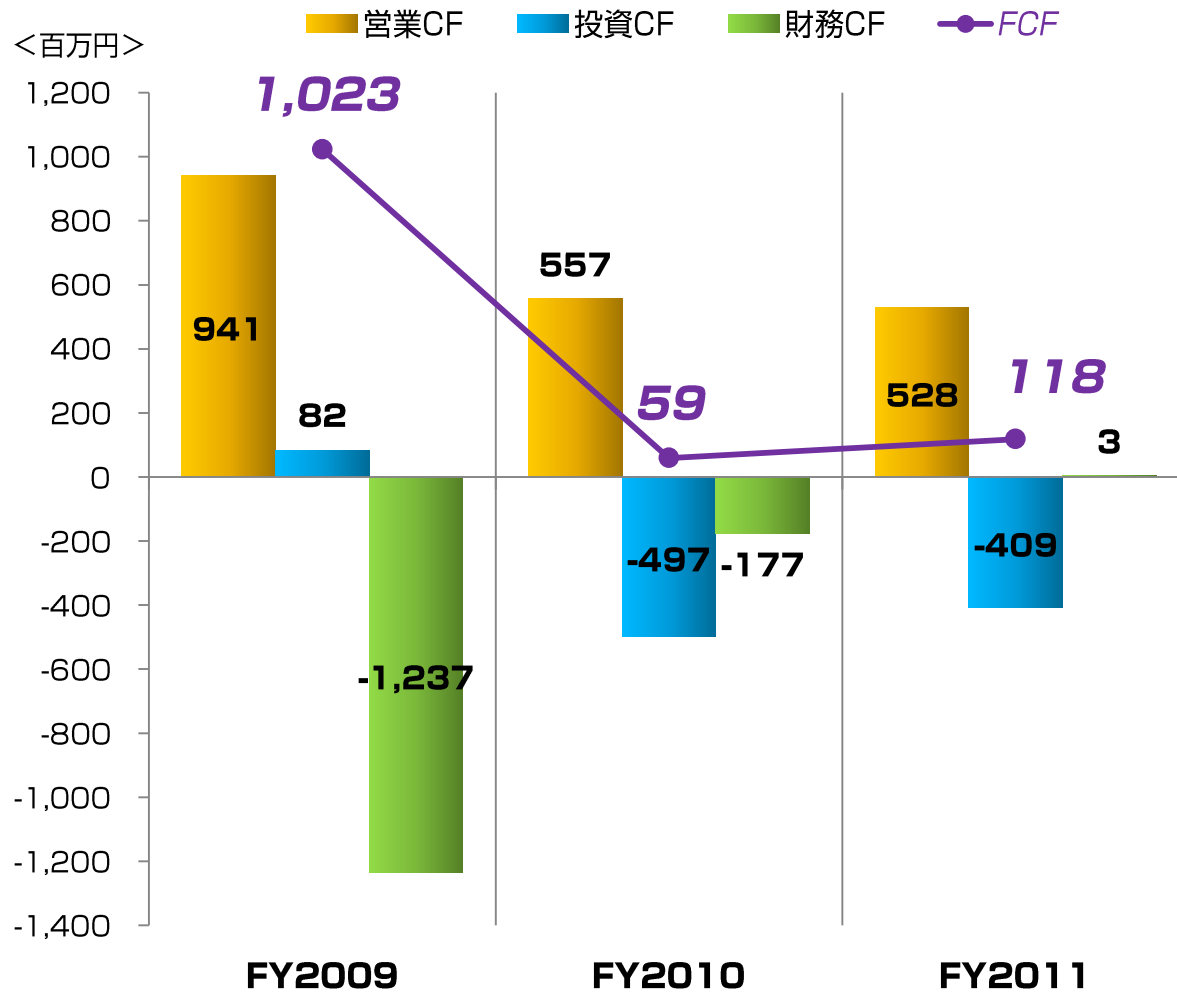
	FY2010	FY2011
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲1	▲0.3
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	▲119	122
現金及び現金同等物の期首残高	1,461	1,341
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	70

※連結キャッシュ・フロー計算書の項目で、主なものを記載しています。

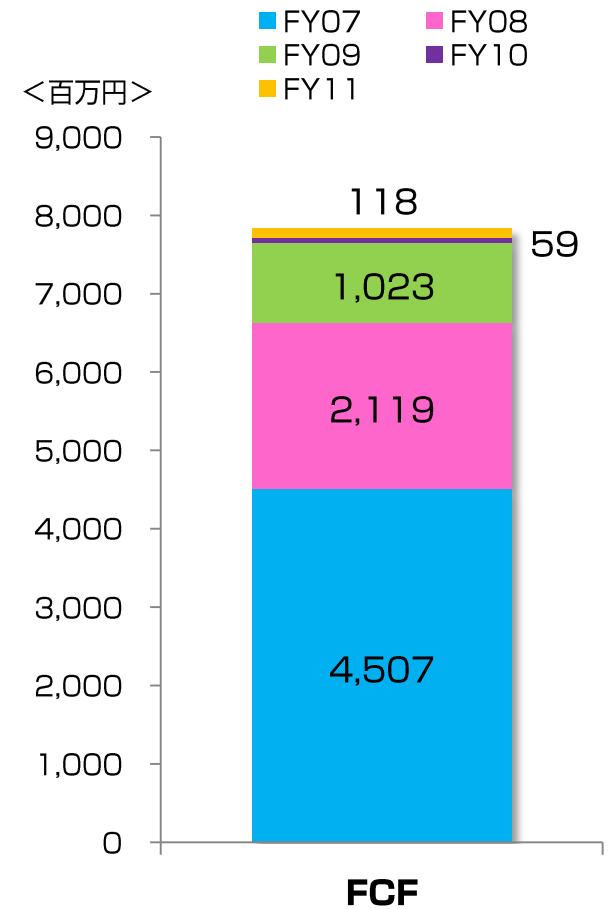
連結C/Fの状況 (3) FCF推移



キャッシュ・フロー推移



FCFを積み増し



※フリーキャッシュフロー (FCF) = 営業CF + 投資CF

单体決算概要

单体決算概要

単体P/L ハイライト



<百万円>

	前年同期比			
	2010/実績	2011/実績	増減額	増減率
売上高	4,849	5,459	+609	12.6%
営業利益	608	728	+119	19.6%
経常利益	644	535	▲108	▲16.9%
当期純利益	505	244	▲261	▲51.8%
粗利益率	31.5%	31.9%	+0.4pt.	—
営業利益率	12.6%	13.3%	+0.7pt.	—

<営業外収益>
雇用調整助成金
55百万円→13百万円

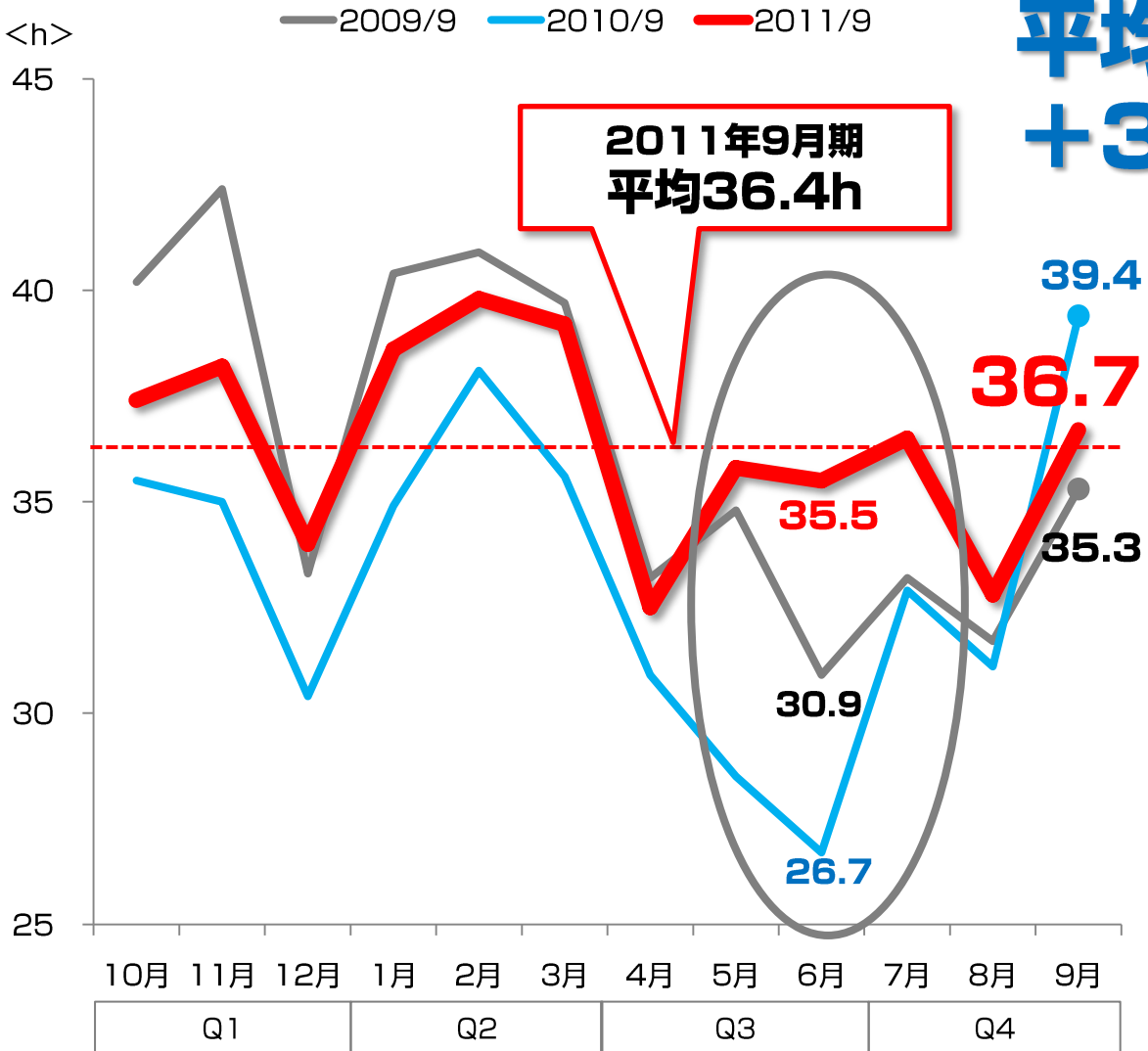
<営業外費用>
シ・ローン手数料等
121百万円
社債発行費用
29百万円

<特別損失>
投資有価証券売却損
38百万円
投資有価証券評価損
21百万円

※営業利益率の推移については<参考資料②>をご参照ください。

経営指標

経営指標（1）平均残業時間

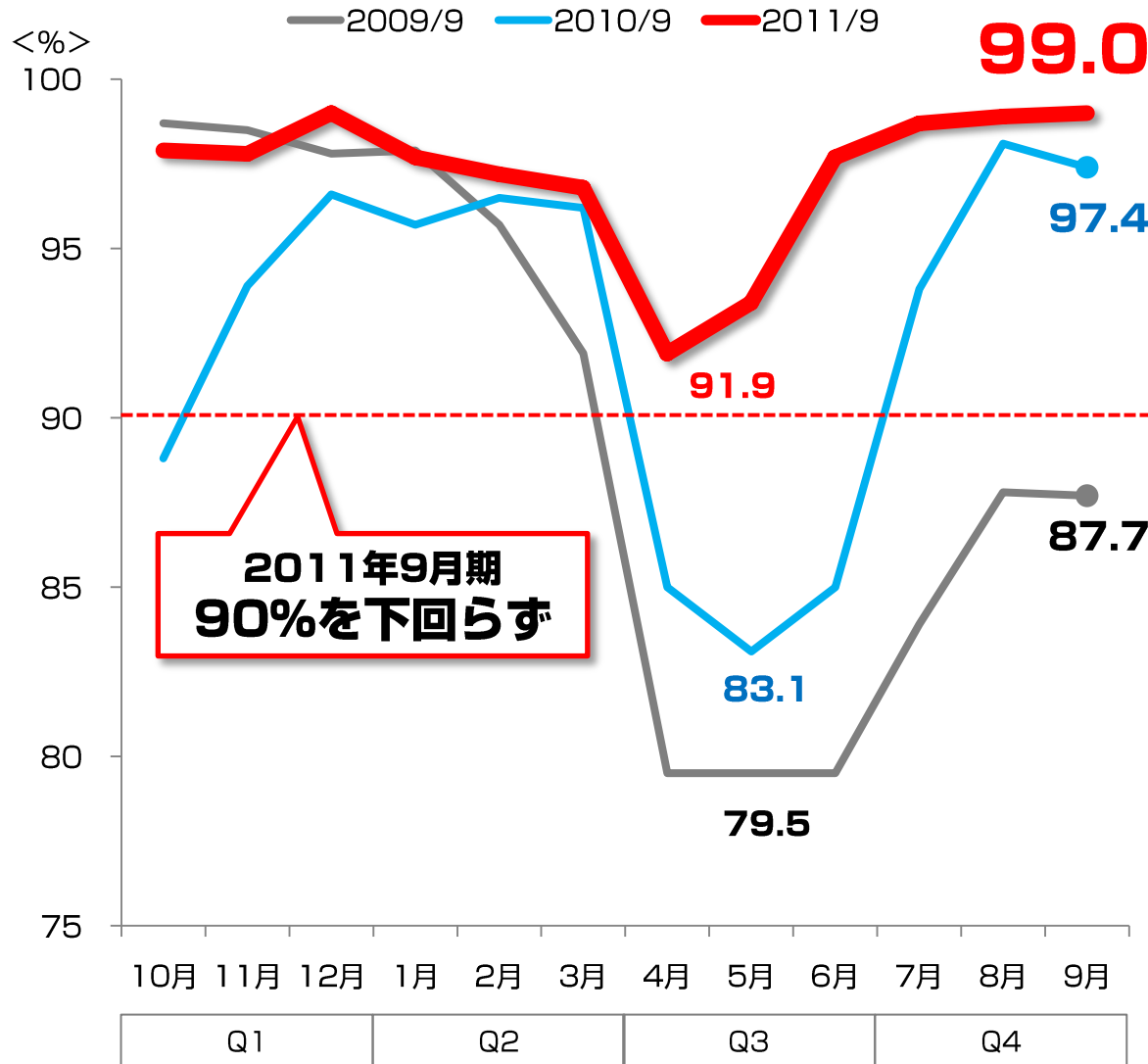


**平均36.4hで前年比
+3.1hの回復基調**

- ◇ 2011年9月期 **平均36.4h**
- ◇ 2010年9月期 **平均33.3h**
- ◇ 2009年9月期 **平均36.3h**

※残業時間＝総残業時間÷総稼働人数

経営指標 (2) 平均稼働率



平均97.2%を達成 技術者の増員が急務

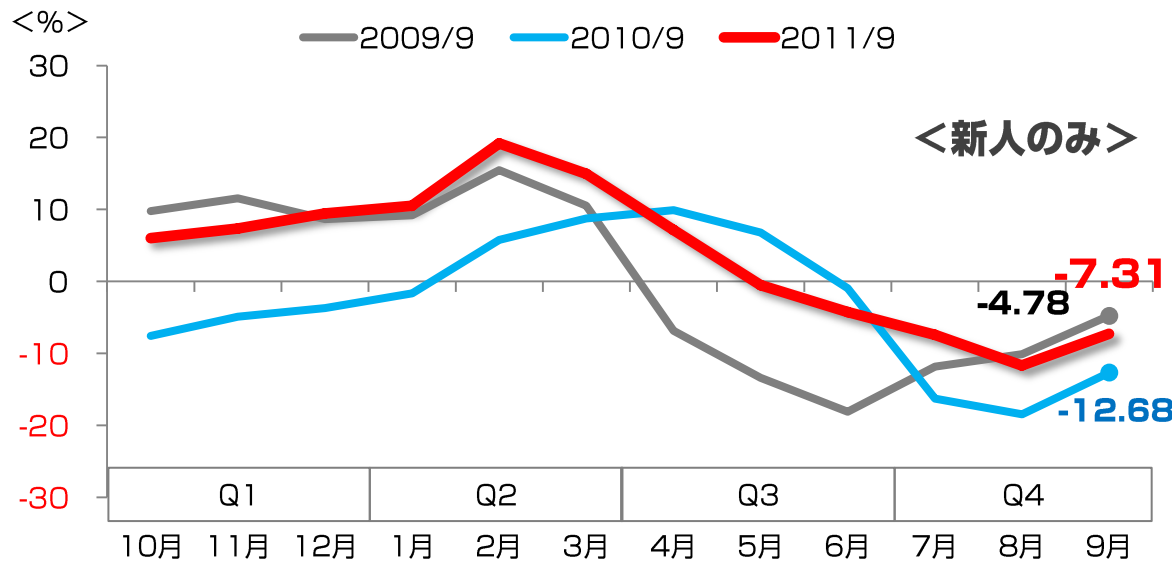
建設現場が減少する4月～6月も90%以上の稼働率を維持。過去2年間を見ても突出した水準。

<要因>

1. 建設現場の単純な増加
2. ゼネコン社員の東北出向等による首都圏の技術者空洞化
3. 積極的な営業活動による継続契約
4. 建設業界全体のコスト意識の改善

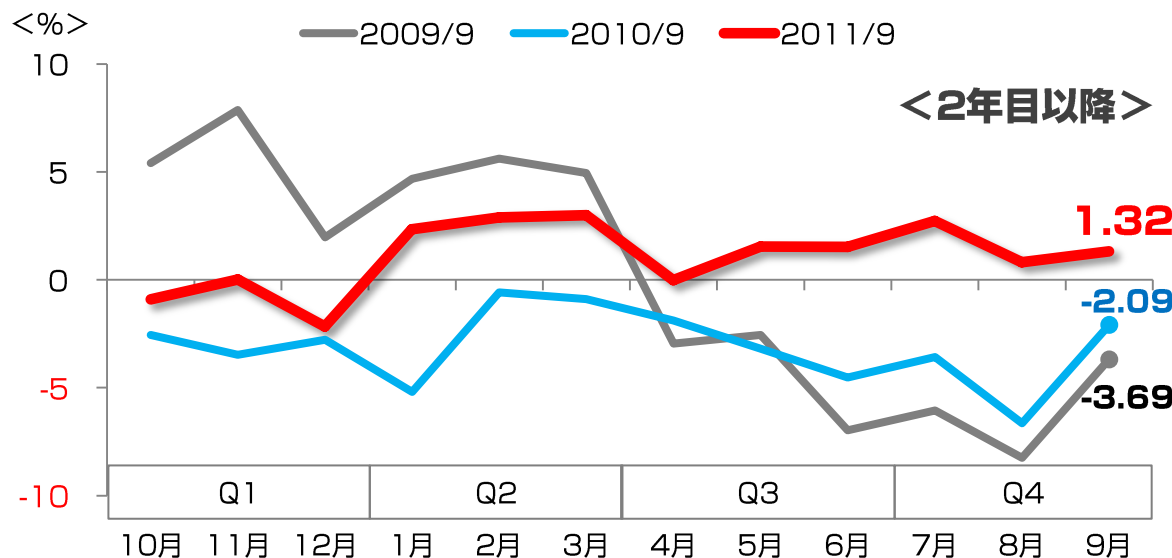
※稼働率 = 稼働人数 ÷ 稼働可能人数 (在籍人数 - 産休・休職) × 100

経営指標 (3) 平均単価



稼働率重視の営業活動により前年同月並みの水準

◇ 2011年 平均**3.61%**
 ◇ 2010年 平均▲**2.92%**



建設業界の緩やかな回復基調の中、技術者の不足が深刻なため単価は上昇傾向

◇ 2011年 平均**1.09%**
 ◇ 2010年 平均▲**3.12%**

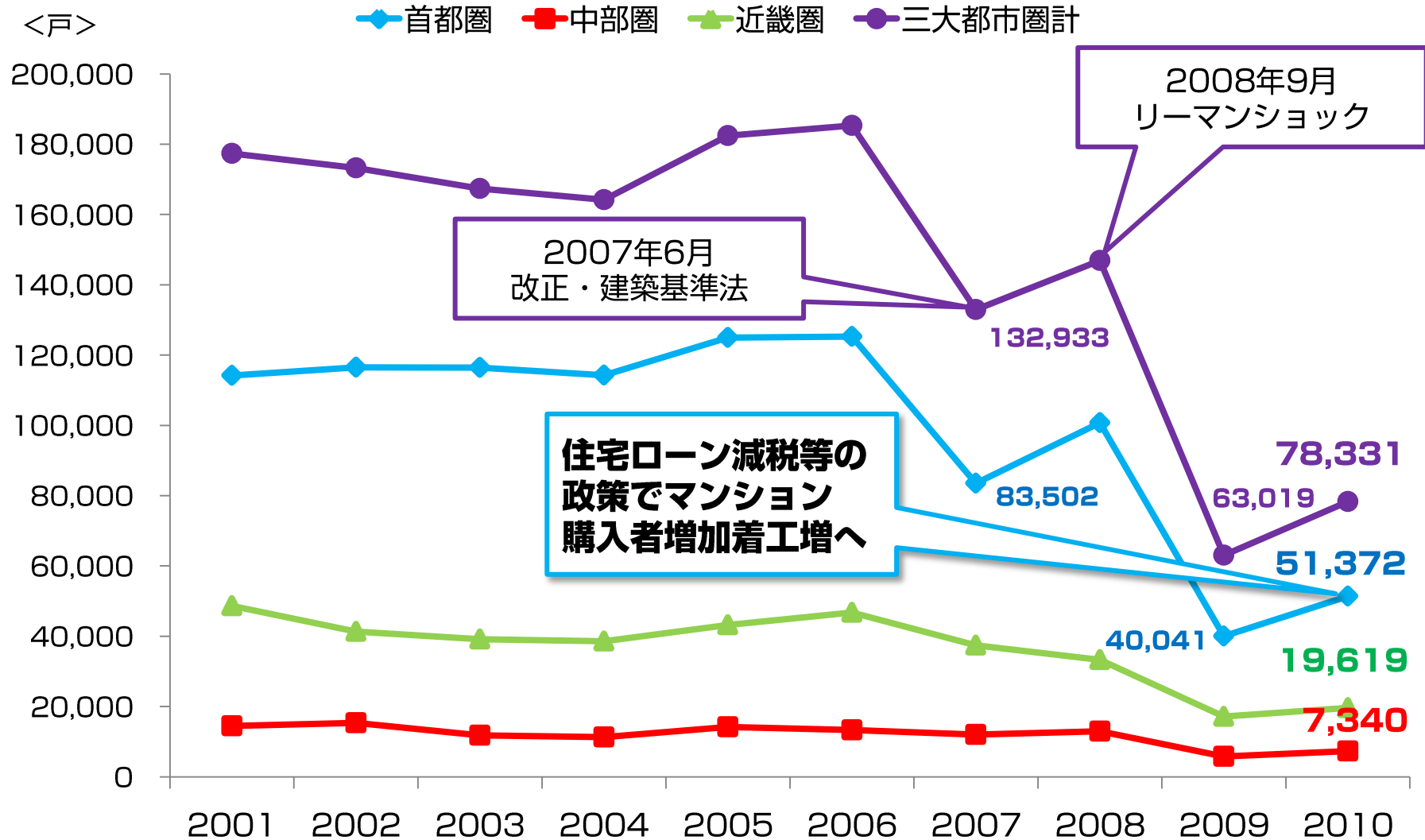
※2009年9月期平均単価を基準としております。

次代の建設業を
担う人材の確保が
急務。

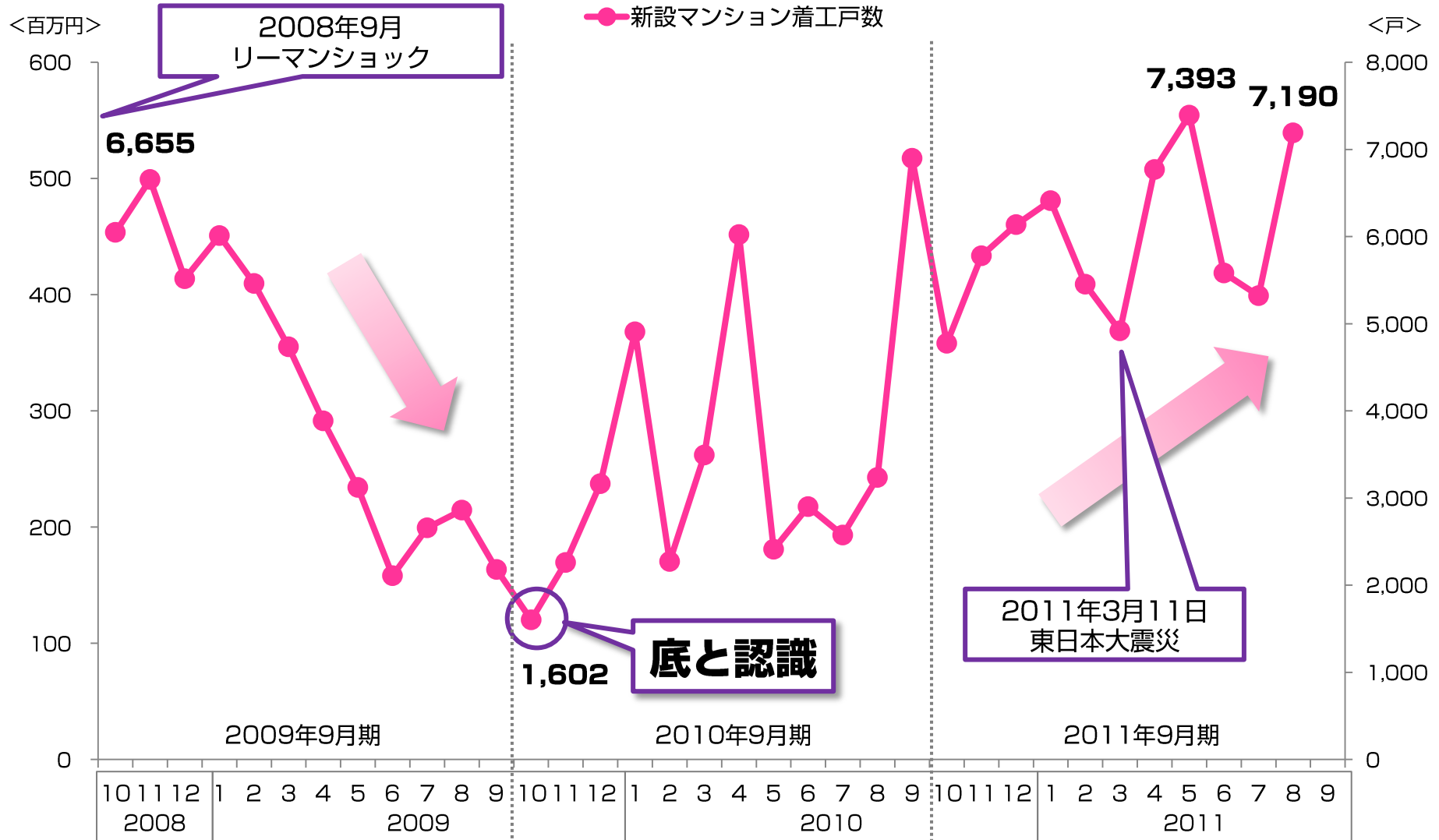
業績予想・戦略

外部環境

外部環境 (1) マンション着工戸数推移 (年次)



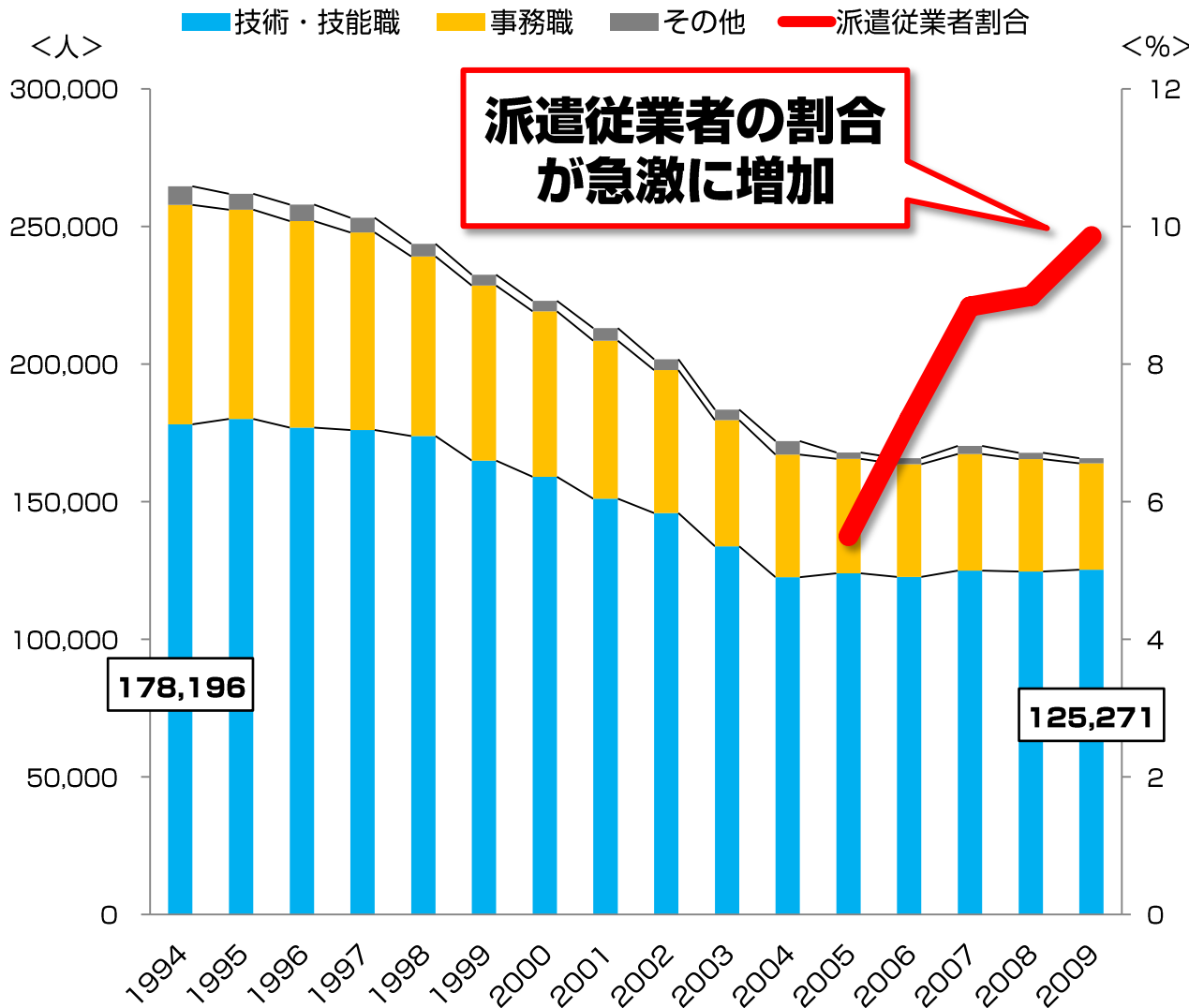
外部環境 (2) マンション着工戸数推移 (月次)



※着工戸数は首都圏（東京・埼玉・神奈川・千葉）のものです。

出典：国土交通省「建築着工統計戸数」

外部環境 (3) 建設従業者数推移



派遣従業者の割合が急激に増加

**2009年
技術・技能職
約130,000人**

**派遣従業者割合
約10%**

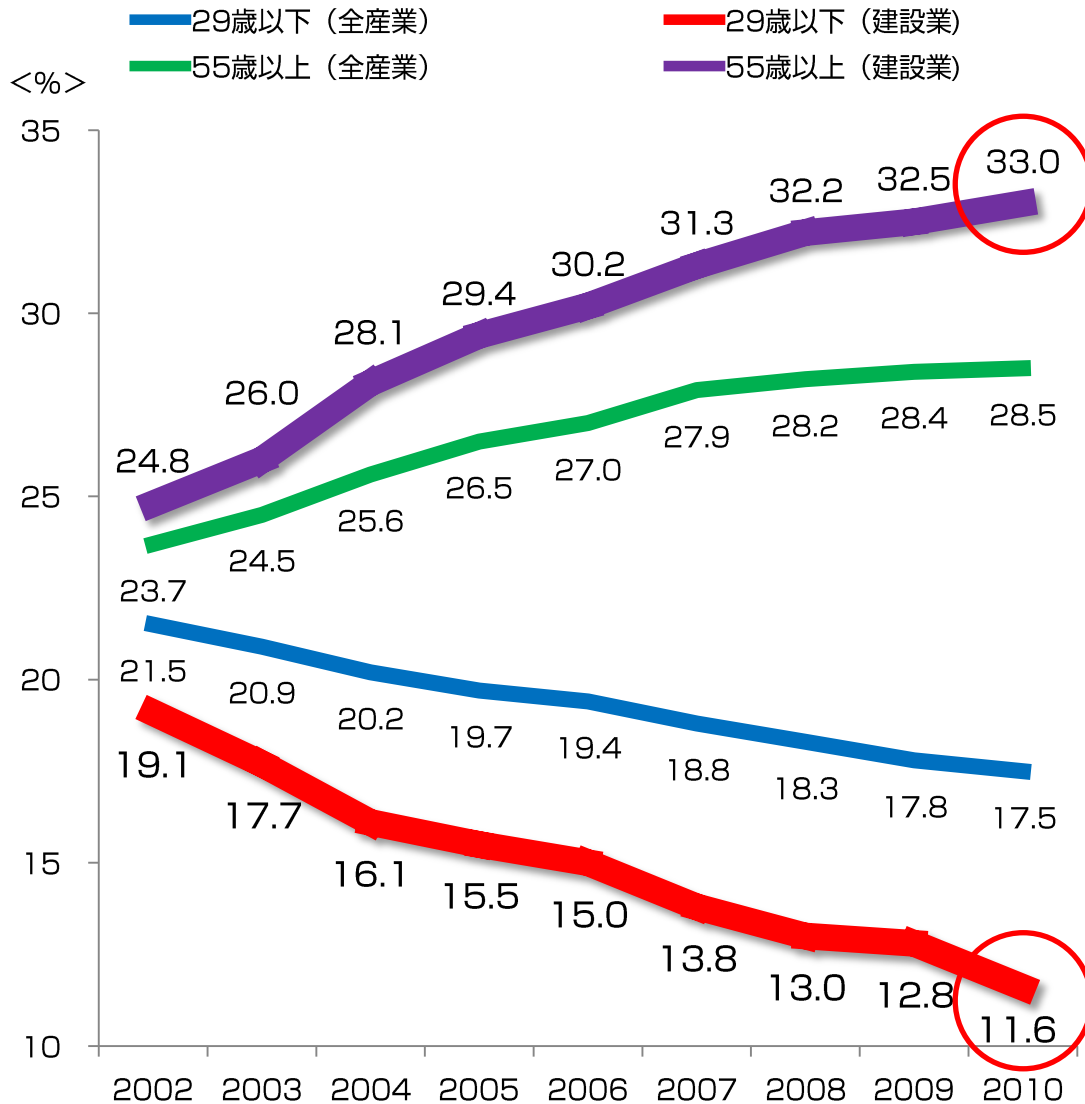
**技術・技能職の
約13,000人が
派遣従業員**

**当社シェア
約7%**

※技術者数900名として算出

出典：国土交通省「建築業活動実態調査」

外部環境（4）年齢別就業者割合

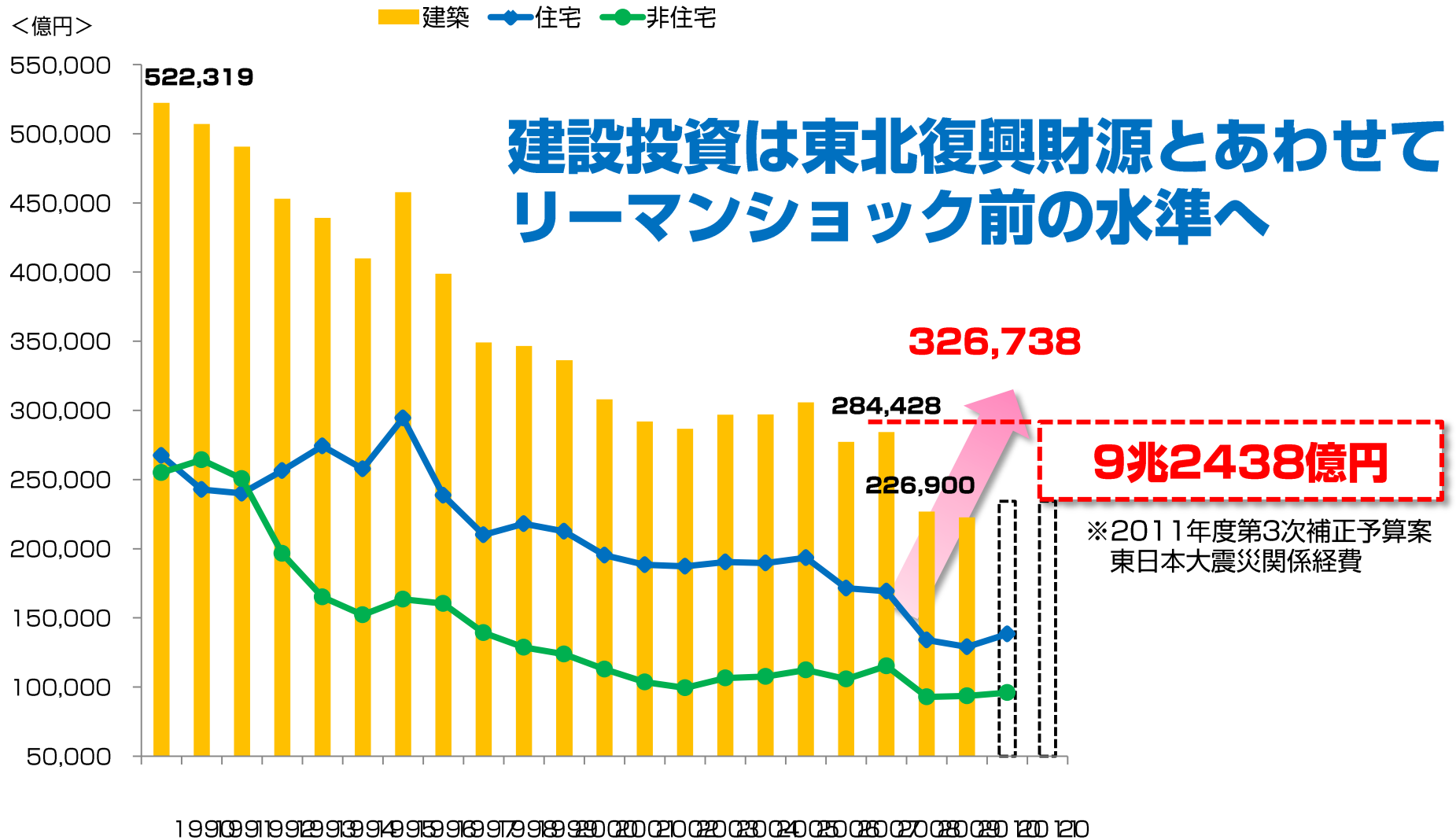


**建設業就業者は、
全産業と比べて
老齢化・若手不足が
深刻化している。**



**次代の建設業を
担う人材の確保が
急務。**

外部環境 (5) 建築投資の見通し

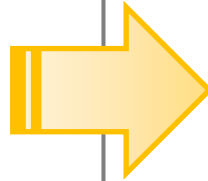


外部環境（6）派遣法改正案への対応



【労働者派遣法改正案 POINT】

1. 登録型派遣の原則禁止
専門26業務は例外
2. 製造業派遣の原則禁止
1年を超える常時雇用は例外
3. 日雇い派遣の原則禁止
日々又は2ヶ月以内の
労働者派遣を禁止
4. 派遣先労働者との均衡を考慮
派遣労働者の賃金等の決定の
際に均衡を考慮する



【影響&対応】

1・2・3について…
技術者は常用雇用の
ため影響無し

※一部の期間社員が影響を受けるが年間
雇用化・常用雇用化で対応可能

4について…
研修の充実・資格取
得の補助により技術
者のスキルUPをサ
ポート

1) 新設マンション着工戸数が
緩やかな回復基調

技術者の不足

2) 建設業従業者数は減少
派遣従業者割合が急激に増加

技術者の不足

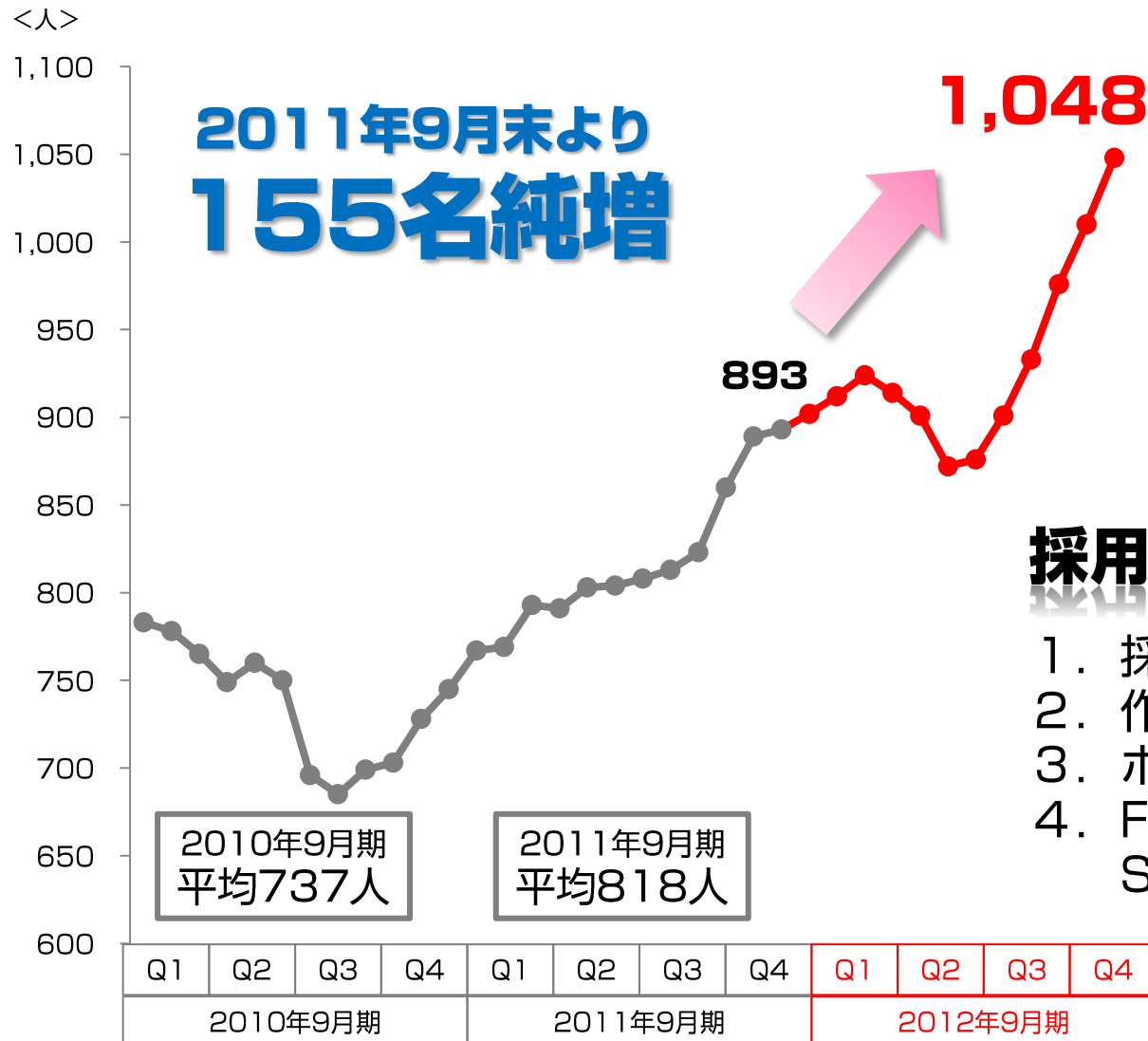
3) 建設投資額に復興財源の追加
復興工事の足音が

技術者の不足

4) 派遣法改正案の影響なし

経営戦略

経営戦略（1）採用計画



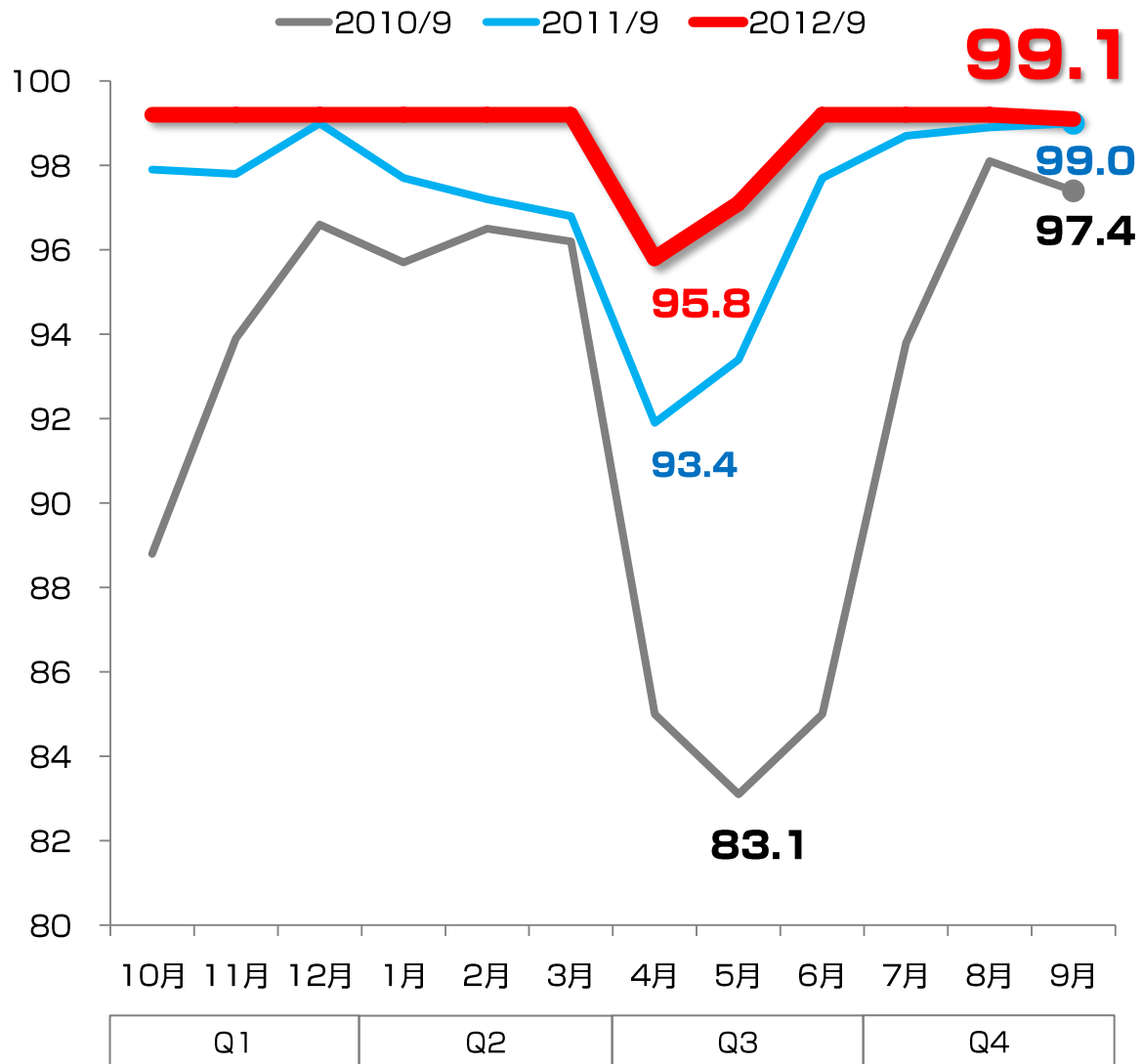
**2012年9月期
計画**
年間平均 930人
9月末 1,048人

採用部門4つの強化策

1. 採用拠点の増設
2. 作用に特化したサロン開設
3. ホームページを一新
4. Facebook・twitterなどのSNSに公式アカウントを作成

※各月末技術者数

経営戦略（2）稼働率計画



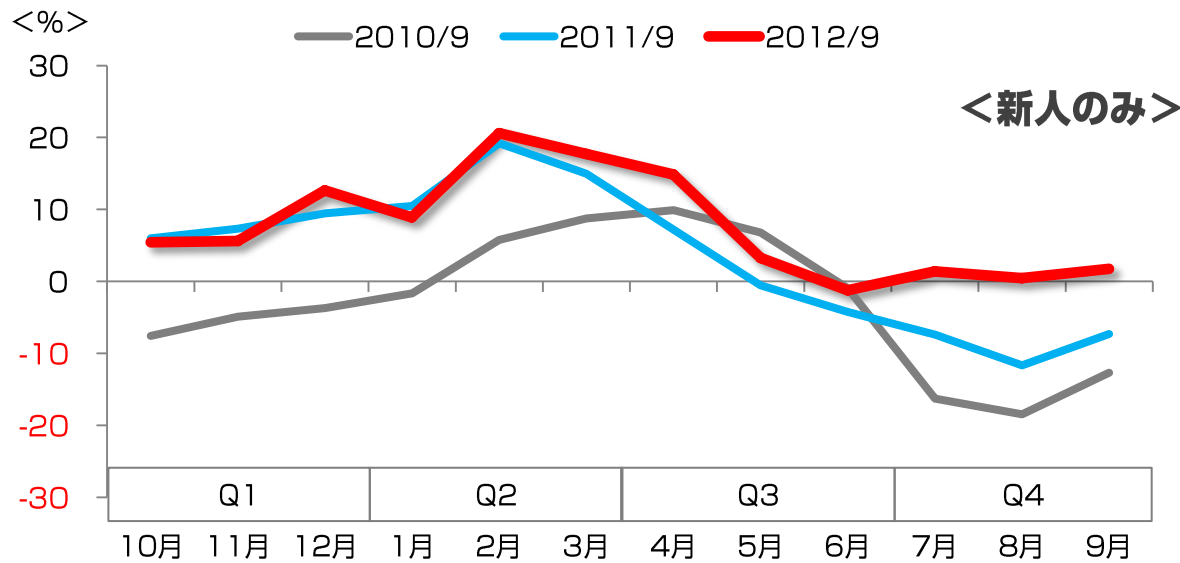
平均98.7%目標

- ✓ 前年比1.5%増加の平均98.7%の稼働率を目指す。
- ✓ 2011年7月頃より稼働率100%近い水準で推移
- ✓ 現場の減少・現場の着工直後等の要因から需要が、減少する4月～6月も95%以上の稼働率をキープ

＜ご参考＞

2011年9月期 平均97.2%
2010年9月期 平均92.5%

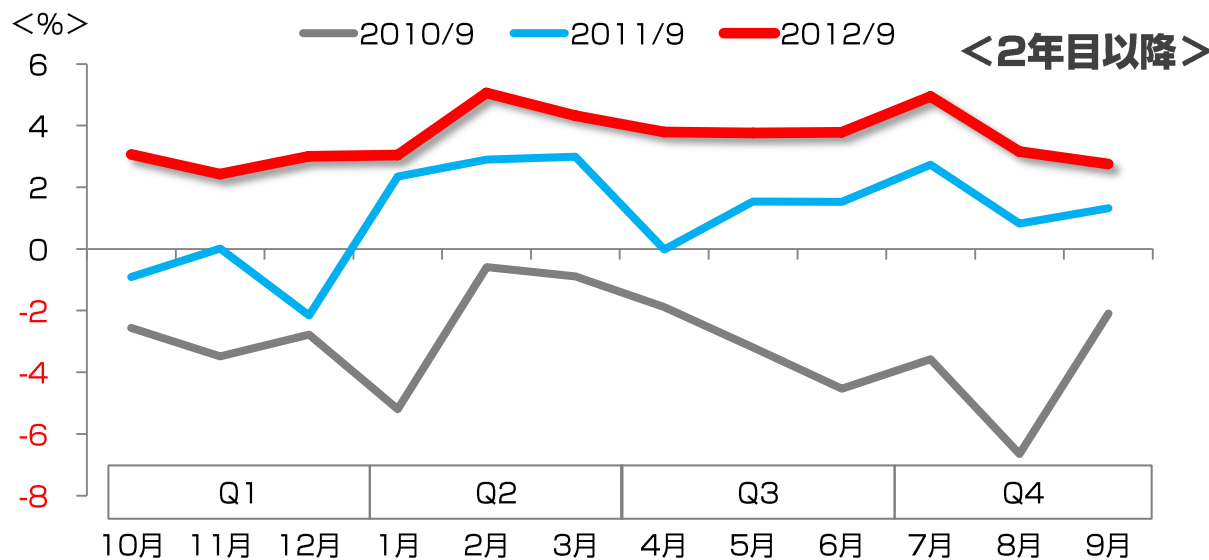
経営戦略 (3) 派遣単価計画



**派遣単価UPを契約時
におり込み済**

**6月以降の単価下落を
抑制**

**営業部門の強化策
営業員に対し派遣単価に
重点を置いた査定を導入**



前期から上昇傾向

**積極的な営業活動に
よりさらなる回復を
目指す**

※0=2009年9月期平均単価

人材派遣事業の特徴として…



設備投資コストが少額



積極的な新規事業への投資が可能



**「高付加価値の人材派遣」をテーマに
M&Aを展開していく**

次代の建設業を担う人材の確保が急務。

- 1) 採用の強化 技術者数 **1,000名**へ
※893人→1,048人
- 2) 旺盛な需要 稼働率 **平均98.7%**
※97.2%→98.7%
- 3) 深刻な技術者不足 **派遣単価**見直し
- 4) 高付加価値人材派遣のM&A

2012年9月期単体業績予想



<百万円>

	第2四半期			通期		
	2011/実績	2012/予想	増減率	2011/実績	2012/予想	増減率
売上高	2,783	3,100	11.4%	5,459	6,300	15.4%
営業利益	450	550	22.2%	728	1,100	51.1%
経常利益	420	500	19.0%	535	1,000	86.9%
四半期純利益	215	250	16.3%	244	550	125.4%

※業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想と異なる場合があります。

子会社の状況

子会社の状況（1）戦略



エンジニア派遣事業

夢テクノロジー・ユニテックソフト

- 1) 技術者の採用を強化
- 2) 新規顧客の開拓に注力
- 3) ローコストオペレーションの徹底

子育て支援事業

我喜大笑

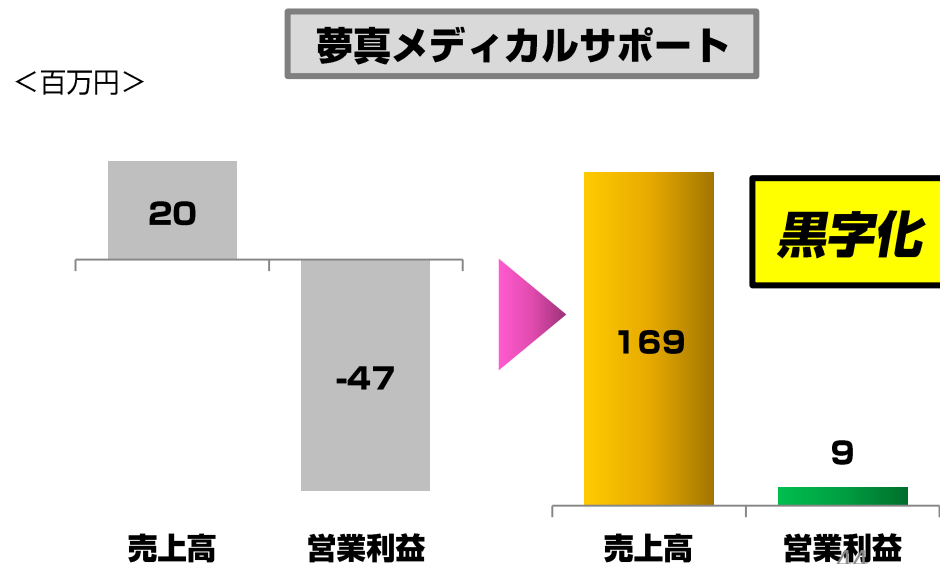
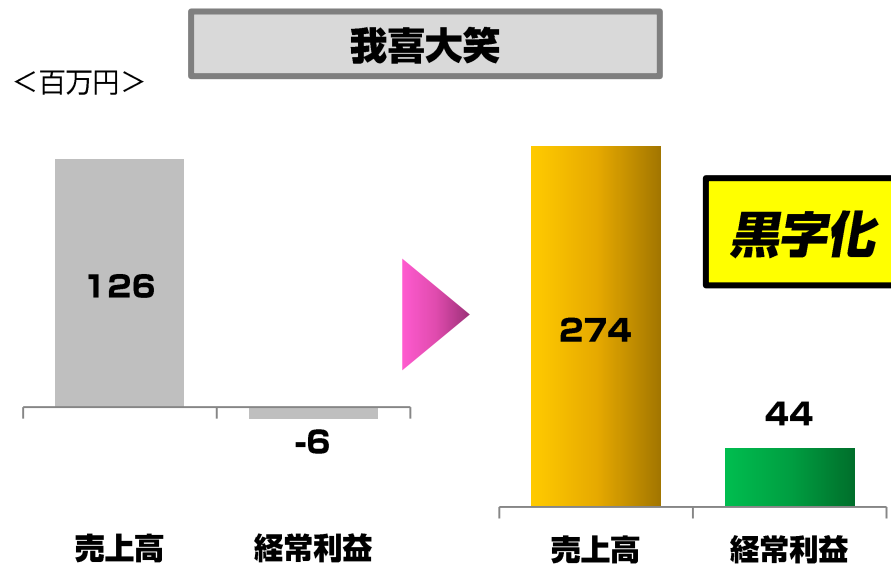
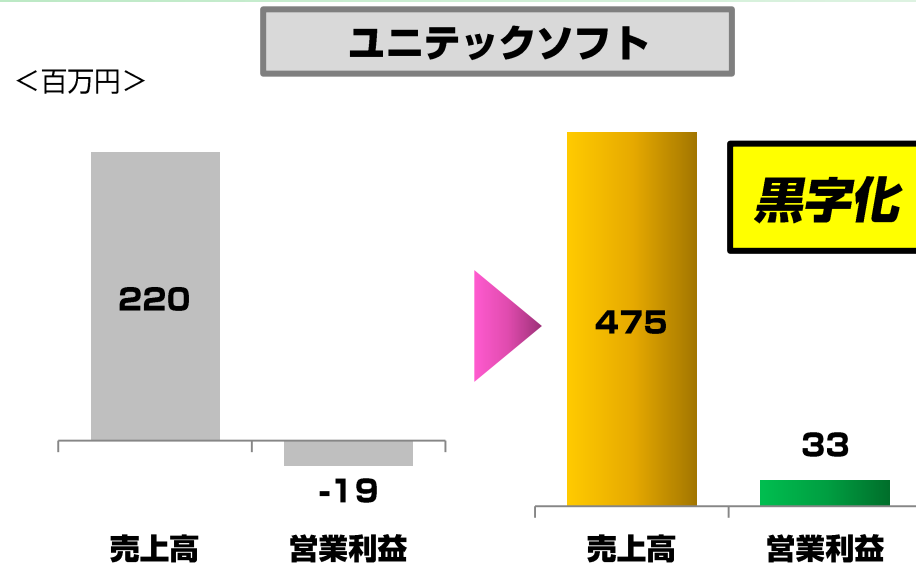
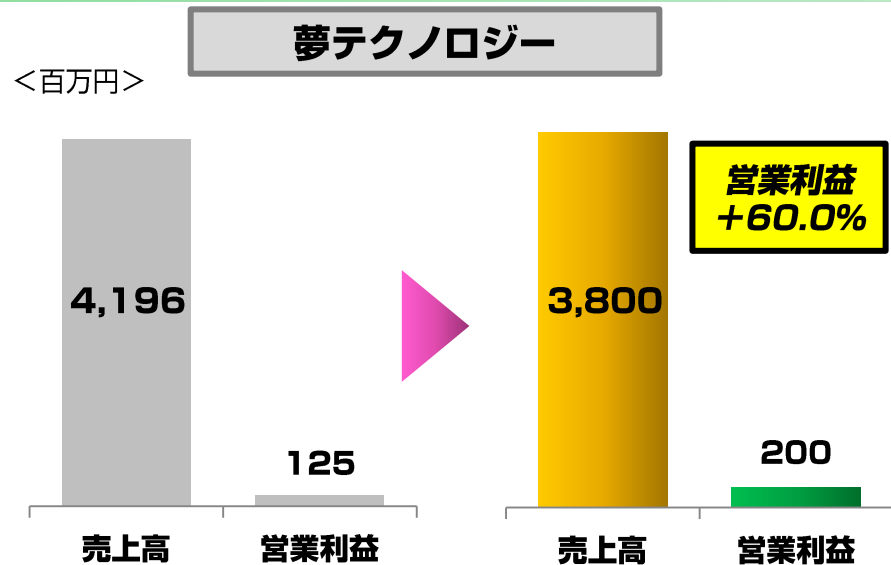
- 1) 既存の認証保育所の更なる認知度向上
- 2) 保育士派遣の通年寄与

医療介護支援事業

夢真メディカルサポート

- 1) 7月にオープンしたデイサービス施設の収益安定化
- 2) 施設増設に向けての好立地物件の選定

子会社の状況（2）業績予想



※我喜大笑は営業外収益に補助金収入を含めております

2012年9月期連結業績予想

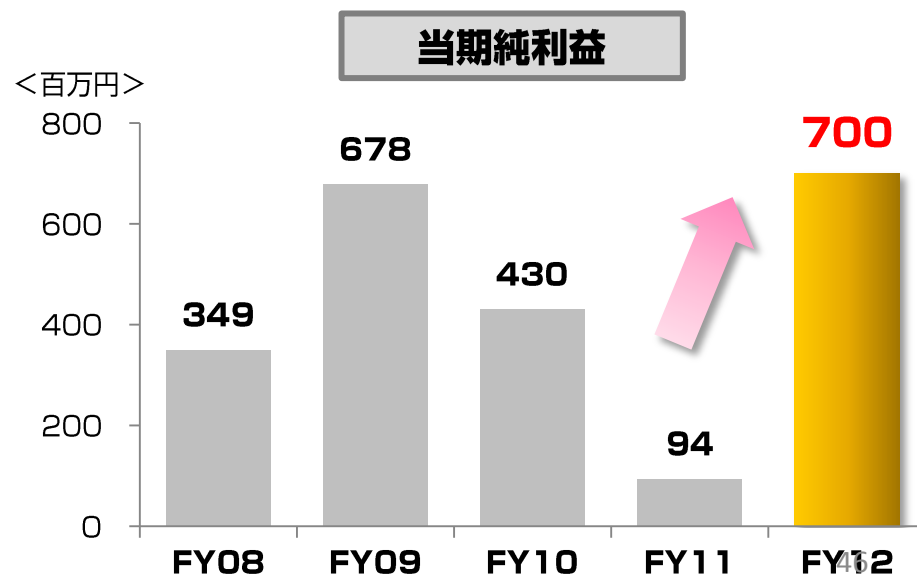
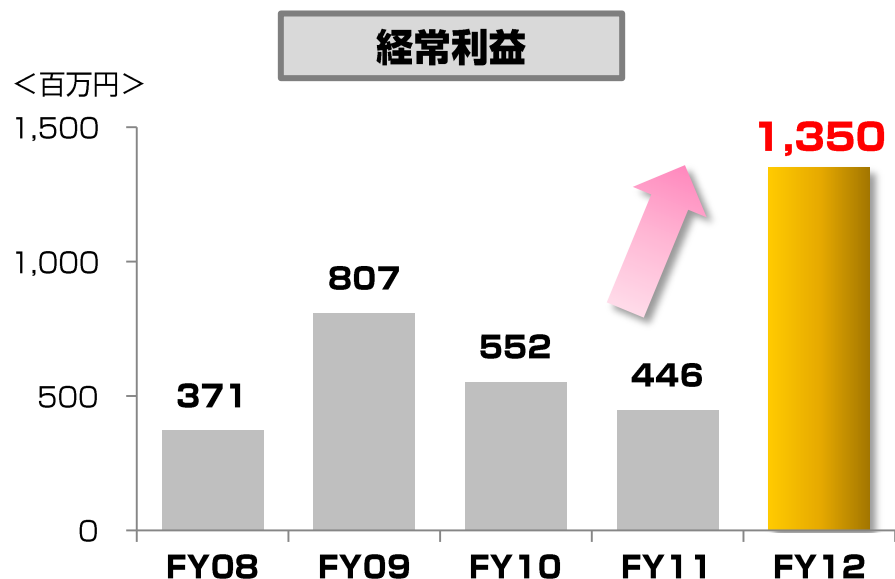
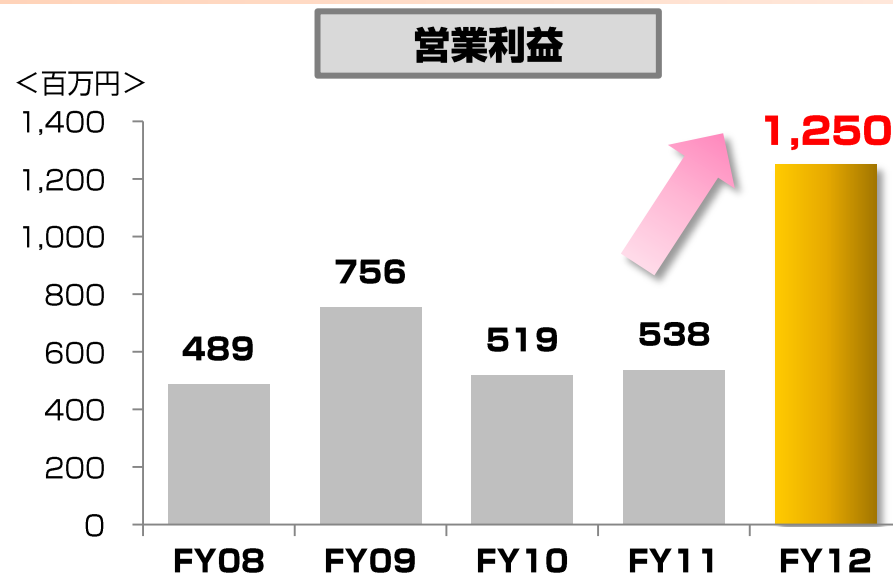
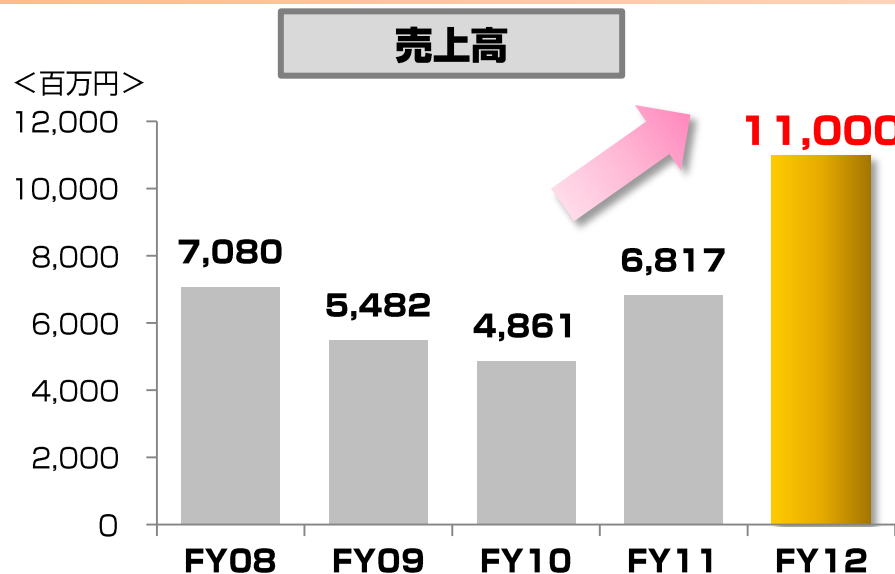


<百万円>

	第2四半期			通期		
	2011/実績	2012/予想	増減率	2011/実績	2012/予想	増減率
売上高	2,868	5,300	84.8%	6,816	11,000	61.4%
営業利益	364	600	64.8%	542	1,250	130.6%
経常利益	365	600	64.4%	451	1,350	199.3%
四半期純利益	160	300	87.5%	102	700	586.3%

※業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想と異なる場合があります。

2012年9月期業績連結予想と業績推移



※FY09は連結財務諸表を作成していないため単体

売上高	11,000百万円 (+61.4%)
営業利益	1,250百万円 (+130.6%)
経常利益	1,350百万円 (+199.3%)
当期純利益	700百万円 (+586.3%)

- 1) 建築技術者派遣事業の**規模拡大**
- 2) 夢テクノロジーが**年間を通して貢献**
- 3) すべての子会社が**黒字化**

株主還元政策



配当政策

事業拡大、経営体質強化のための内部留保を確保しつつ、業績連動型利益配分の基本方針＝配当性向30%目標

	2009年9月期	2010年9月期	2011年9月期	2012年9月期 (予想)
1株当たり利益 (連結)	9円87銭	6円71銭	1円71銭	11円68銭
1株当たり配当	3円00銭 (中間1円 期末2円)	2円00銭 (中間1円 期末1円)	2円00銭 (中間1円 期末1円)	3円00銭 (中間1.5円 期末1.5円)
配当性向	30.4%	29.8%	117.3%	25.7%

※2009年9月期は連結財務諸表を作成していないため単体

自己株式

自己株券の買付けを継続中
安定株主対策・1株当たり利益の向上を図る <株>

	2009年9月末	2010年9月末	2011年9月末
発行済株式総数	74,573,440	74,573,440	74,573,440
自己株式数	7,645,783	11,967,783 (+4,322,000)	15,891,584 (+3,923,801)
議決権株式数	66,927,000	62,605,000	59,237,000

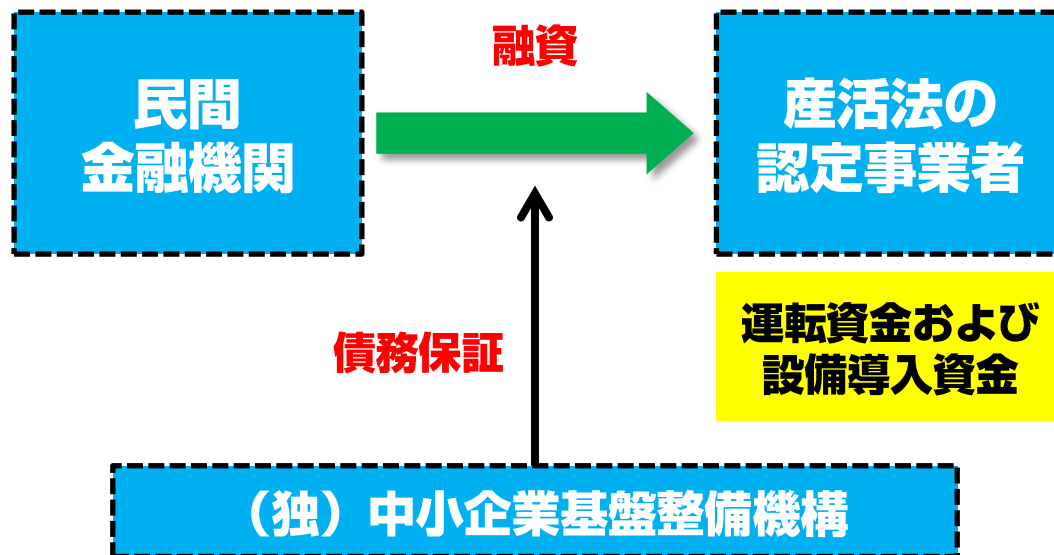
※平成23年9月30日現在

TOPIC (1) 産活法認定

厚生労働省より

「産業活力の再生及び産業活動の革新に関する特別措置法」
に基づく事業再構築計画が認定されました。

計画の実施に必要な資金および設備導入に必要な資金の借入れに関わる債務および資金を調達するために発行する社債について、独立行政法人中小企業基盤整備機構が債務保証を行う。



人材派遣会社では初の認定

保証条件

- ①融資額 : 原則50億円以下
- ②保証割合 : 原則50%、最大70%
- ③保証料率 : 0.3%~1.0%
- ④融資期間 : 原則運転資金5年・設備導入資金10年以内

TOPIC (2) IR宣言



<IR宣言>

- 1) 夢真ホールディングスはIR活動を経営上の最重要項目のひとつといたします。
- 2) 大阪証券取引所ジャスダック市場に株式を公開する企業として、絶えず説明責任を果たし、常に明瞭な情報発信をいたします。
- 3) 積極的な情報開示を行い、公正で信頼性の高い情報をすべてのステークホルダーにタイムリーかつ公平に発信いたします。
- 4) 株主・投資家の皆様との継続的な双方向のコミュニケーションを行い、信頼関係の構築に努めます。
- 5) 上記事項を真摯に実践し、真の企業価値が市場価値に反映されるべく、絶えず努力いたします。

<IR活動指針>

- ①個人投資家向け会社説明会を年2回開催
- ②アナリスト・機関投資家向け決算説明会年2回開催
- ③上記説明会のIR資料や質疑応答の内容については、可能な限りホームページに公開
- ④アナリスト・機関投資家との個別取材については、基本的にすべての取材依頼に対応
- ⑤上記個別取材においては、代表取締役の佐藤またはIR室のいずれかが対応
- ⑥決算報告動画を年4回ホームページならびに携帯サイトに掲載
- ⑦株主通信の年2回の郵送とホームページでの掲載
決算説明会資料を中心とした各種IR資料の継続的な改革
- ⑧2011年9月にリニューアルした投資家情報ページの充実
- ⑨個人投資家向け会社説明会及びアナリスト・機関投資家向け決算説明会の動画配信を実施
- ⑩株主・投資家の声を取締役会で報告
- ⑪年間IR活動（予定）をホームページにアップ
- ⑫電話やメールでの問い合わせについては、基本的にすべてに対応
- ⑬よくあるご質問に関しては、ホームページのFAQにて掲載
- ⑭上記の具体的活動進捗状況を定期的にホームページにて掲載

免責事項

本資料は、資料作成者が信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて作成しておりますが、当社および資料作成者はこれらの情報が正確であるとの保証はいたしかねます。情報が不完全または要約されている場合もあります。本資料に記載する価格・数値等は、過去の実績値、概算値あるいは将来の予測値であり、実際とは異なる場合もございます。

本資料は将来の結果をお約束するものでもございませんし、資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、当社および資料作成者が責任を負うものでもございません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



JASDAQ

<お問い合わせ>

〒112-0012

東京都文京区大塚3-11-6 大塚三丁目ビル

株式会社夢真ホールディングス IR室

TEL : 03-5981-0672 FAX : 03-5981-0711

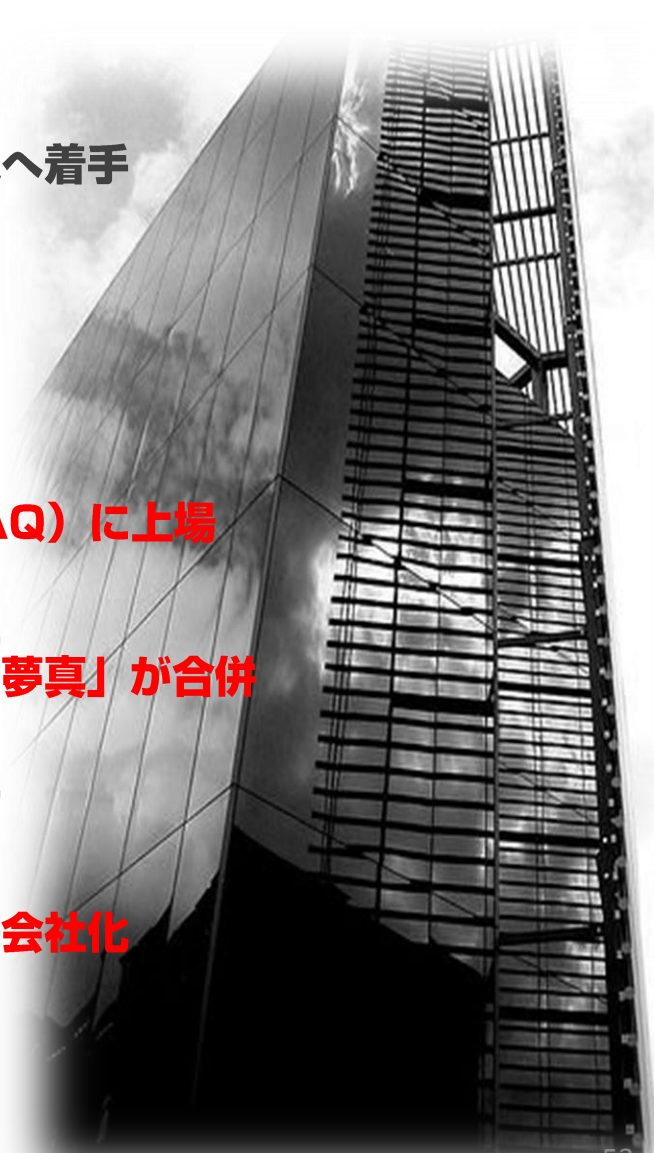
E-mail : ir@yumeshin.co.jp

会社概要



平成23年9月30日現在

商号	株式会社夢真ホールディングス (YUMESHIN HOLDINGS CO.,LTD.)
設立	1980年1月
資本金	805,140,000円
発行済株式総数	74,573,440株
上場市場	大阪証券取引所JASDAQ (証券コード: 2362)
代表者	代表取締役会長兼社長 佐藤 真吾
事業内容	建築技術者派遣事業・エンジニア派遣事業・子育て支援事業・医療介護支援事業
本社	東京都文京区大塚3丁目11番地6号
子会社	株式会社我喜大笑 (2009年10月設立・86.36%) 株式会社夢真メディカルサポート (2010年7月設立・100%) 株式会社ユニテックソフト (2011年1月子会社化・90%) 株式会社夢テクノロジー (2011年5月子会社化・84.65%)
従業員数	連結 1,883名 (単体 994名)

- 
- 1980年 1月 **「(有)佐藤建築設計事務所」を設立**
 - 1985年 4月 施工図作図のため海外ネットワーク形成へ着手
 - 1987年 4月 海外設計事務所に施工図の発注を開始
 - 1990年 10月 **「(株)夢真」に社名変更**
 - 11月 大阪営業所を開設
 - 1991年 3月 **技術者派遣事業を開始**
 - 5月 名古屋営業所を開設
 - 2001年 12月 カラーでの施工図作成開始
 - 2003年 9月 **大阪証券取引所ヘラクレス (現JASDAQ) に上場**
 - 2005年 4月 組織をホールディングス化
事業継承会社として**「(株)夢真」を設立**
 - 2007年 10月 **「(株)夢真ホールディングス」と「(株)夢真」が合併**
 - 2009年 10月 **「(株)我喜大笑」を設立**
 - 2010年 7月 **「(株)夢真メディカルサポート」を設立**
 - 2011年 1月 **「(株)ユニテックソフト」を子会社化**
 - 5月 **仙台営業所を設立**
「(株)フルキャストテクノロジー」を子会社化

ビジネスモデル

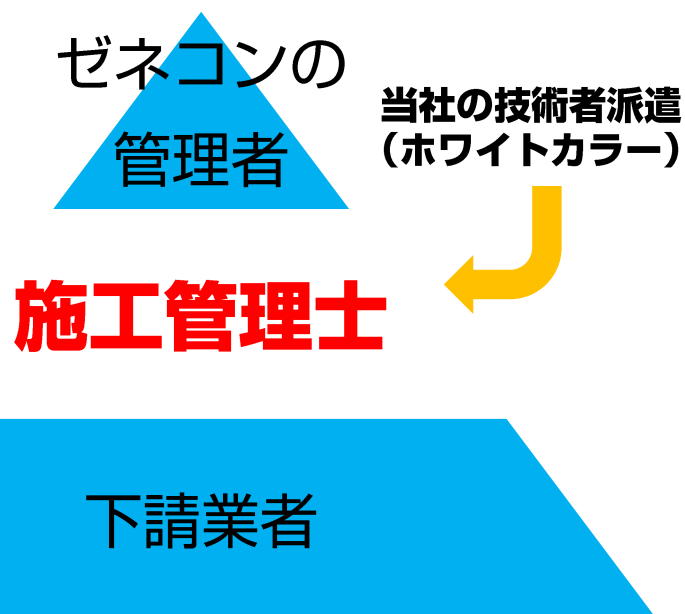
ビジネスモデル

夢真グループ事業領域



平成23年9月30日現在

事業区分	会社名	事業内容
建築技術者派遣事業	株式会社夢真ホールディングス	建築現場への技術者の派遣 ・ 施工管理技術者派遣 ・ CADオペレーター派遣 施工図面作図請負
エンジニア派遣事業	株式会社夢テクノロジー	エンジニアアウトソーシング ビジネスソリューション N&Sソリューション
	株式会社ユニテックソフト	システムエンジニア派遣
子育て支援事業	株式会社我喜大笑	保育所運営 保育士及び一般事務派遣
医療介護支援事業	株式会社夢真メディカルサポート	デイサービス施設運営 医師・歯科医開業支援



技術者派遣事業

建設業界人材の流動化ビジネス

- ◇ 施工管理技術者派遣
- ◇ CADオペレーター派遣

< 建設業界の特徴 >

- ◇ 季節的な仕事量の増減
- ◇ 1プロジェクトごとに人材を募集

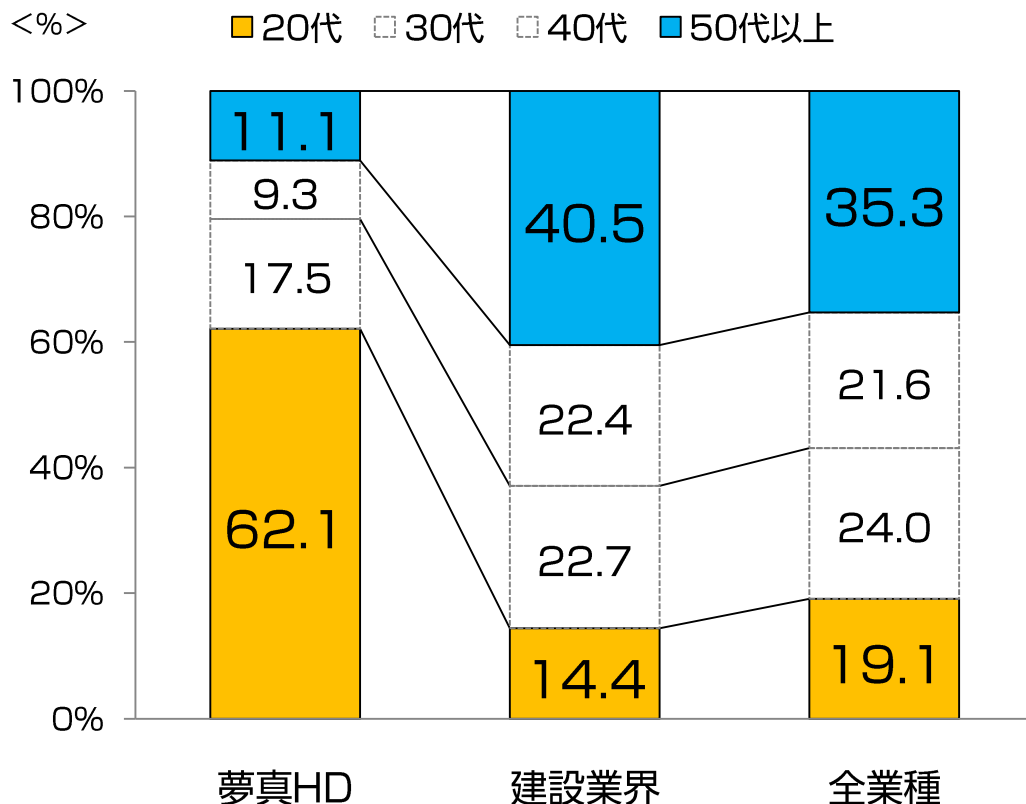
人材を抱えづらい業界

アウトソーシングに適している

一時的なコスト削減ではなく、
継続的な固定費削減の提供

技術者派遣の特徴（1）若手に特化

年代別割合



建設業界の老齢化は 全業種と比べても深刻化

<要因>

- ◇ 建設業界の先行き不透明感からの新卒採用見送り
- ◇ IT産業などの新たな人気業種の台頭
- ◇ 技術者の育成環境の不足

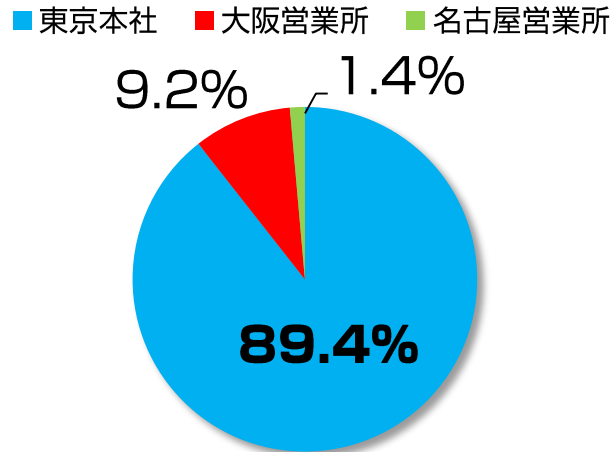
**夢真HDは…
若手技術者に特化
建設業界の新たな
担い手を供給**

出典：経済産業省「業種アウトック」

技術者派遣の特徴（2）首都圏に特化



営業所別派遣割合



<人>

	東京本社	大阪営業所	名古屋営業所	計
新入社員	72	0	0	72
女性社員	123	16	1	140
男性社員	289	18	7	314
期間社員	139	30	2	171
合計	623	64	10	697
派遣割合	89.4%	9.2%	1.4%	100%

首都圏は地方に比べ、
仕事量が多く単価が高い

夢真HDは…
首都圏に特化
資源を集中させることで
経営の効率化を図る

<ご参考>

新築マンション着工戸数

首都圏 7,190

中部圏 486

近畿圏 1,730

三大都市圏計 9,406

首都圏が全体の
約75%を占める

※出典：国土交通省「建築着工統計戸数」（2011年9月30日）

※2010年9月期平均

技術者派遣の特徴 (3) 売上の分散化



現在、約750社の顧客を抱えており、特定の企業に依存することなく売上を上げる体制となっている。

売上高構成比

<%>

順位	2008年9月	構成比	2009年9月	構成比	2010年9月	構成比	2011年9月	構成比
1	(株)鴻池組	5.4	東急建設(株)	6.0	東急建設(株)	7.3	東急建設(株)	7.1
2	鹿島建設(株)	4.7	鹿島建設(株)	4.3	鹿島建設(株)	3.8	(株)鴻池組	4.2
3	東急建設(株)	4.7	前田建設工業(株)	3.8	(株)鴻池組	3.5	鹿島建設(株)	3.5
4	西松建設(株)	3.4	京王建設(株)	3.7	(株)竹中工務店	3.5	(株)竹中工務店	2.9
5	安藤建設(株)	3.2	(株)鴻池組	3.5	大和小田急建設(株)	3.0	大和小田急建設(株)	2.7
	上位5社計	21.4	上位5社計	21.3	上位5社計	21.1	上位5社計	20.4
	上位10社計	33.6	上位10社計	32.3	上位10社計	30.1	上位10社計	29.7

技術者派遣の特徴（４） 施工実績

数多くの施工実績を有し、高い評価を受けている。
オフィスビル、公共施設、マンション、都市開発などその範囲は多岐にわたっている。

施工実績の一部



東京ミッドタウン



六本木ヒルズ



恵比寿
ガーデンプレイス



横浜
ランドマークタワー